

令和6年度
教育課程

大分県立別府支援学校

目 次

I 学校経営

- 1 教育目標 I - 1
- 2 本年度の重点目標と重点的取組 I - 4

II 教育課程の概要

- 1 教育課程編成の基本方針 II - 1
- 2 教育課程編成の原則 II - 1
- 3 各課程の詳細 II - 2
- 4 教育課程の構造 II - 3
- 5 校時表 II - 4

III 小学部

- 1 指導の形態別授業時数 III - 1
- 2 道徳科指導計画 III - 3
- 3 外国語活動指導計画 III - 5
- 4 総合的な学習の時間 III-12
- 5 学級活動 III-15
- 6 クラブ活動 III-17
- 7 児童会活動 III-17
- 8 学校行事 III-18
- 9 自立活動 III-19
- 10 交流及び共同学習 III-20

IV 中学部

- 1 指導の形態別授業時数 IV - 1
- 2 道徳科指導計画 IV - 3
- 3 総合的な学習の時間 IV - 4
- 4 学級活動 IV - 9
- 5 生徒会活動 IV-10
- 6 学校行事 IV-11
- 7 自立活動 IV-12
- 8 産業現場等における実習 IV-13
- 9 交流及び共同学習 IV-14

V 高等部

- 1 教育課程 V - 1
- 2 総合的な探究の時間 V - 7
- 3 ホームルーム活動 V-11
- 4 生徒会活動 V-13
- 5 学校行事 V-14
- 6 自立活動 V-15
- 7 産業現場等における実習 V-16
- 8 交流及び共同学習 V-17

VI 教育計画

- 1 道徳教育の全体計画 VI - 1
- 2 キャリア教育の全体計画 VI - 2
- 3 人権・平和教育の全体計画 VI - 3
- 4 食に関する指導の全体計画 VI - 4

VII 基本日課

- 1 小学部 VII - 1
- 2 中学部 VII - 5
- 3 高等部 VII - 6

I 学校経営

I 学校経営

1 教育目標

(1) 学校教育目標

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育実践を通し、自立と社会参加をめざし主体的に学びに向き合い心豊かに生きていく児童生徒を育成する。

(2) 校訓及び育てたい児童生徒像

校訓「自愛 友愛 感謝」

- ①主体的に学び、自己実現しようとする児童生徒
- ②自他を認め、協力して活動できる児童生徒
- ③考えや気持ちを豊かに表現する児童生徒

(3) 具体的なめざす児童生徒像

【小学部】

課程	病（精神）Ⅰ,Ⅱ	病（病気）、肢Ⅰ	肢病知Ⅱ,Ⅲ	肢病知Ⅳ
自立	基本的な生活リズムや学習の習慣を身に付け、自分や教師と決めたことを守って行動することができる。	自分でできそうなことに挑戦し、自分でできることを増やそうとすることができる。	新しいことに挑戦し、身の回りのできることを増やし、自分から行うことができる。	身近な人の支援を受け入れ生活リズムを整えて、健康的に過ごすことができる。
社会参加	学校生活のルールやマナーに気を付けて、周囲の人とお互いの気持ちを伝えあいながら、周りの人と一緒に活動することができる。	集団や社会の中で、自分や相手のことを認めて、ルールを守って行動することができる。	集団でのルールや社会のきまりに気を付けて、学校内外の人と関わりながら活動に参加することができる。	家族以外の人との関わりに慣れ、学校の様々な人々と関わりながら活動に参加することができる。
主体的に学ぶ	学習活動や行事での課題を意識し、自分で続けて取り組むことができる。	学習活動や行事の目的を理解し、自分から進んで取り組むことができる。	学習活動や行事に興味を示し、自分ができることに続けて取り組むことができる。	学習活動や行事に興味を示し、友だちや教師の誘いに応じて取り組むことができる。
心豊かに生きる	身近な人に自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを考えたりすることができる。	自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを考えたりして、会話や行動をすることができる。	出会った人と、あいさつや会話などのコミュニケーションを取ることができる。	周りの人や物と関わりながら、思ったこと感じたことを自分なりに伝えることができる。

【中学部】

課程	病（精神）Ⅰ,Ⅱ	病（病気）Ⅰ	肢病知Ⅱ,Ⅲ	肢病知Ⅳ
自立	自分の得意なことや苦手なことを知り、自分で行動したり、周りに支援を求めたりすることができる。	自分の得意なこと、苦手なことを理解し、自分から行動したり、人に適切な支援を求めたりすることができる。	自分のことは自分で行おうとし、苦手なことを受け入れ、人に依頼することができる。	色々な人からの支援を受け入れながら、日常生活を健康的に過ごすことができる。
社会参加	集団や社会のルールやマナーを守って、周りの人と行動することができる。	集団や社会の中で、自分の意見を伝えながら周囲の人と協調して、ルールを守って行動することができる。	集団や社会のルールを守りながら、地域や社会の活動に主体的に参加することができる。	デイサービスなど、家庭以外の余暇を楽しみ、地域や社会の活動に参加することができる。
主体的に学ぶ	自分の課題に対して、学ぶ意義を理解して学び、課題を解決しようとするすることができる。	自分の課題に対して、学ぶ楽しさを感じて粘り強く学び続け、課題を解決することができる。	自分の課題に対して、興味関心を広げて多方面から学び、課題を解決しようとするすることができる。	自分の興味関心を広げ、周囲の支援者と一緒に何度も活動して楽しみながら学ぼうとするすることができる。
心豊かに生きる	自分の良さや相手のよさに気づき、適切な関わり方をすることができる。	自他の違いに気づき、お互いを認めながら行動することができる。	集団や社会のルールを守りながら、地域や社会の活動に主体的に参加することができる。	デイサービスなど、家庭以外の余暇を楽しみ、地域や社会の活動に参加することができる。

【高等部】

課程	病（精神）Ⅰ,Ⅱ	病（病気）Ⅰ	肢病知Ⅱ,Ⅲ	肢病知Ⅳ
自立	自分の特性を理解して、自分で判断して行動したり、周りに適切に支援を求めたりして目的を達成することができる。	自分でできること、できないことを理解し、自分で判断して行動したり、周りに適切に支援を求めたりすることができる。	自分の生活に必要なことを自分でできるか、周りに支援を求めるか、自分で考えて行動することができる。	周りからの支援を受け入れながら、規則正しく、自分の生活を健康的に過ごすことができる。
社会参加	社会や進路先のルールやマナーを守り、周りの人と協調して活動することができる。	社会や進路先で自他の意見を尊重し、ルールやマナーを守って行動することができる。	社会や進路先のルールを守って、周りと協調して地域や社会の活動に参加することができる。	福祉サービス等での余暇を楽しみ、地域や進路先などの活動に参加することができる。

主体的に学ぶ	進路の方向性と関連付けて、体調や周囲の状況と折り合いを付けながら取り組むことができる。	進路の方向性と関連付けて、体調管理をしながら粘り強く取り組むことができる。	進路先で必要な作業能力を身に付けようとしたり、身の回りのことを周囲に支援を求めたりして取り組むことができる。	興味関心のあることを続けて行うなど、進路先での生活を見据え、支援者と一緒に活動することができる。
心豊かに生きる	自分や他者の個性を認めお互いを尊重して接することができる。	自分や他者の個性を認め自分から積極的にコミュニケーションを取ることができる。	他者を認め、思いやりの気持ちを持ち、誰とでもコミュニケーションを取ることができる。	身の回りの変化や出来事を楽しみ、自分なりの方法で気持ちや意思を伝えることができる。

(4) 学部目標

【小学部】

自分のできそうなことに挑戦し、学習活動や行事に主体的に取り組むとともに、自分や相手の気持ちを考えて周囲の人と関わり、集団や社会のルールや決まりを守って行動することができる。

- ・新しいことに挑戦しつつ、自分の得意なことを増やし、自分から行動することができる。
- ・様々な活動に対して、目的を理解して進んで取り組んだり、興味を示して友だちや教師の誘いに応じて取り組んだりすることができる。
- ・自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちを考えたりしながら、周りの人と会話や行動ができる。
- ・集団や社会のきまりやルールを守ることが分かり、周りの人たちとともに活動に参加できる。

【中学部】

自分の得意なことや苦手なことを知り、主体的な姿勢で学び適切に行動するとともに、自他の違いに気づいて相手を認めながら周囲の人と関わり、集団や社会のルールやマナーを守って行動することができる。

- ・自分のできることは自信をもって行い、苦手なことに対しては必要な支援を周囲に伝えて行動することができる。
- ・自分の意見を伝えたり、相手の意見を聞いたりしてお互いを認め、集団や社会で活動できる。
- ・自己の課題解決に向けて興味関心を広げ、学ぶ意義を理解して主体的に学ぼうとすることができる。
- ・自分の良さや相手の良さに気づき、相手の気持ちを考えてコミュニケーションを取ろうとすることができる。

【高等部】

自分の特性を理解して、自ら考え適切に判断して行動するとともに、自他の個性を認めながら周囲の人と関わり、社会や進路先でのルールやマナーを守って行動することができる。

- ・自分でできることは行い、できないことは頼むなどの判断を自分ですることができる。
- ・学ぶことに興味や関心を持ち、自己の学習活動を振り返って進路実現に活かすことができる。
- ・自分の個性や相手の個性を認め、思いやりをもってコミュニケーションを取ることができる。
- ・自分の意見や相手の意見を尊重し、周りの人と協調して、社会や進路先で活動することができる。

2 本年度の重点目標と重点的取組

1 肢体不自由教育・病弱教育の専門性の向上

- (1) 「自立活動年問題材計画」の内容の学部間における系統性を検証（Ⅰ課程）
- (2) 「年問題材計画」を立て、学部間の系統性を検証。次年度、授業実施する上で指導に必要な教材教具の作成（Ⅱ～Ⅳ課程）
- (3) 児童生徒の特性に応じた ICT 機器の活用方法を検討し授業実践

2 関係機関と連携した学校づくり

- (1) 困難事例に対して外部専門家、SC、SSW と連携しサポート会議等を通じてチームで対応
- (2) 「実態」と「本人・保護者の思い」を取り入れた授業内容を考え、実践
- (3) 医療的ケア児童生徒が参加する校外学習を実施し、マニュアルの妥当性を検証

3 三校連携した働き方改革

- (1) 昨年度整理した内容以外の部分で、共同実施あるいは分担が可能な内容の検討と、業務内容の精選
- (2) タイムマネジメント（会議時間、教材作成の簡略化、過去作成分の使用等）

Ⅱ 教育課程の概要

II 教育課程の概要

1 教育課程編成の基本方針

- (1) 教育基本法、学校教育法、同法施行規則及び学習指導要領に基づき、肢体不自由または病弱等の児童生徒の実態に即して編成する。
- (2) 小学部・中学部・高等部、それぞれの学部の児童生徒の実態に応じた教育を行うとともに、一貫したものになるよう編成する。
- (3) 医療機関をはじめ、関係諸機関との連携を密にし、教育効果を高められるよう編成する。

2 教育課程編成の原則

(1) 全学部共通

- ① I 課程は単一障がい（肢体不自由または病弱）の児童生徒、または知的障がいを伴わない重複障がいの児童生徒に対する編成、II・III・IV課程は知的障がいを伴う重複障がいの児童生徒に対する編成である。また、長期の入院・治療を行う児童生徒の指導形態等については、別途関係者と協議して決定する。
- ② 知的障がいを併せ有する児童生徒については、各教科等の全部又は一部について、合わせて授業を行う。また、各教科の目標及び内容に関する事項の一部を特別支援学校学習指導要領「知的障がい者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校」の各教科の目標及び内容の一部によって替える。
- ③ 複数の障がいを併せ有し、障がいの状況により特に必要がある場合には、各教科、特別の教科道徳若しくは特別活動の目標及び内容に関する事項の一部又は各教科、若しくは総合的な学習・探究の時間に替えて、自立活動を主として行う。

(2) 小学部

- ① I 課程の各教科の目標・内容は、小学校学習指導要領に示すものに準じ、特に基礎的・基本的な事項を重視する。また、自立活動の学習内容と合理的配慮の提供を踏まえた指導を行う。
- ② II 課程およびIII課程の生活、およびIV課程の音楽、図工以外の各教科の内容は、各教科等を合わせた指導の中で扱う。
- ③ IV課程の特別の教科道徳の内容は、各教科等を合わせた指導の中で行うとともに、教育活動全体を通して行う。

(3) 中学部

- ① I 課程の各教科の目標・内容は、中学校学習指導要領に示すものに準じ、特に基礎的・基本的な事項を重視する。また、自立活動の学習内容と合理的配慮の提供を踏まえた指導を行う。
- ② II 課程の社会、理科、職業・家庭の内容の一部、およびIII課程の社会、理科、職業・家庭、外国語の内容の一部、およびIV課程の音楽、美術以外の各教科の内容は、各教科等を合わせた指導の中で扱う。
- ③ IV課程の特別の教科道徳の内容は、各教科等を合わせた指導の中で行うとともに、教育活動全体を通して行う。

(4) 高等部

- ① I 課程の各教科の目標・内容は、高等学校学習指導要領に示すものに準じ、特に基礎的・基本的な事項を重視する。また、自立活動の学習内容と合理的配慮の提供を踏まえた指導を行う。自立と社会参加に向けた学習を効果的に実施するため、学校設定教科として「産業社会と人間」を設定する。
- ② II 課程の社会、理科、職業の内容、およびIII課程の社会、理科、職業、家庭の内容、およびIV課程の音楽、美術以外の各教科の内容は、各教科等を合わせた指導の中で扱う。
- ③ 特別の教科道徳の内容は、教育活動全体を通して行う。

3 各課程の詳細

	対象	準拠・編成の原則	指導の形態	到達目標																											
I 課程	<p>肢体不自由、病弱または肢体不自由に病弱を併せ有する者のうち、応用、総合の能力があり、論理的、抽象的、系統的な学習を行うことが適当と判断される児童生徒。</p>	<p>○小学校、中学校、高等学校（普通科）に準ずる教育を行う。</p> <p>○高等部に自立と社会参加に向けた学習を効果的に行うため、学校設定教科「産業社会と人間」を設定する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小</th> <th>中</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">各教科</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>学校設定教科</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>専門科目</td> </tr> <tr> <td colspan="3">特別の教科 道徳</td> </tr> <tr> <td colspan="3">特別活動</td> </tr> <tr> <td colspan="3">自立活動</td> </tr> <tr> <td colspan="3">外国語活動</td> </tr> <tr> <td colspan="3">総合的な学習・探究の時間</td> </tr> </tbody> </table>	小	中	高	各教科					学校設定教科			専門科目	特別の教科 道徳			特別活動			自立活動			外国語活動			総合的な学習・探究の時間			<p>○障がいによる学習上又は生活上の困難の改善・克服及び、心身の調和的発達を図る。</p> <p>○「基礎的・基本的な知識及び技能」の習得と課題解決のための「思考力・判断力・表現力」の育成を図る。</p>
小	中	高																													
各教科																															
		学校設定教科																													
		専門科目																													
特別の教科 道徳																															
特別活動																															
自立活動																															
外国語活動																															
総合的な学習・探究の時間																															
II 課程	<p>主たる障がいや肢体不自由または病弱の者のうち、軽度の知的障がいや有する者で、抽象化、系統化、応用、総合等に困難があるが、学習の習熟度、経験不足等を勘案すれば各教科の内容を扱うことが適当と判断される児童生徒。</p>	<p>○知的障がい特別支援学校の教育に準じ、「各教科」と「各教科等を合わせた指導」を中心に行う。各教科の目標・内容は、知的障がい特別支援学校に準ずる。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小</th> <th>中</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">日常生活の指導</td> </tr> <tr> <td>遊びの指導</td> <td colspan="2">作業学習</td> </tr> <tr> <td colspan="3">生活単元学習</td> </tr> <tr> <td colspan="3">教科別の指導</td> </tr> <tr> <td colspan="3">特別の教科 道徳</td> </tr> <tr> <td colspan="3">特別活動</td> </tr> <tr> <td colspan="3">自立活動</td> </tr> <tr> <td colspan="3">総合的な学習・探究の時間</td> </tr> </tbody> </table>	小	中	高	日常生活の指導			遊びの指導	作業学習		生活単元学習			教科別の指導			特別の教科 道徳			特別活動			自立活動			総合的な学習・探究の時間			<p>○基礎的・基本的な事項に重点を置き、集団生活の基礎となる力の育成を図る。</p>
小	中	高																													
日常生活の指導																															
遊びの指導	作業学習																														
生活単元学習																															
教科別の指導																															
特別の教科 道徳																															
特別活動																															
自立活動																															
総合的な学習・探究の時間																															
III 課程	<p>主たる障がいや肢体不自由または病弱の者のうち、中度の知的障がいや有する者で、抽象化、系統化、応用、総合等に困難があり、各教科の内容は生活に関する基礎的なものを主に扱うことが適当と判断される児童生徒。</p>	<p>○知的障がい特別支援学校の教育に準じ、「各教科等を合わせた指導」を中心に行う。各教科の目標・内容は、知的障がい特別支援学校に準ずる。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小</th> <th>中</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">日常生活の指導</td> </tr> <tr> <td>遊びの指導</td> <td colspan="2">作業学習</td> </tr> <tr> <td colspan="3">生活単元学習</td> </tr> <tr> <td colspan="3">教科別の指導</td> </tr> <tr> <td colspan="3">特別の教科 道徳</td> </tr> <tr> <td colspan="3">特別活動</td> </tr> <tr> <td colspan="3">自立活動</td> </tr> <tr> <td colspan="3">総合的な学習・探究の時間</td> </tr> </tbody> </table>	小	中	高	日常生活の指導			遊びの指導	作業学習		生活単元学習			教科別の指導			特別の教科 道徳			特別活動			自立活動			総合的な学習・探究の時間			<p>○体験的な活動を通じて、身近自立及び日常生活の基本的な習慣を身につけながら、集団生活及び社会生活への主体的な参加を図る。</p>
小	中	高																													
日常生活の指導																															
遊びの指導	作業学習																														
生活単元学習																															
教科別の指導																															
特別の教科 道徳																															
特別活動																															
自立活動																															
総合的な学習・探究の時間																															
IV 課程	<p>主たる障がいや肢体不自由または病弱の者のうち、重度の知的障がいや有し、身体・感覚の諸機能にさまざまに働きかけることが適当であると判断される児童生徒。</p>	<p>○知的障がい特別支援学校の教育に準じ、主として「自立活動」に重点をおくとともに、一部「各教科等を合わせた指導」を中心に行う。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小</th> <th>中</th> <th>高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">日常生活の指導</td> </tr> <tr> <td>遊びの指導</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="3">教科別の指導</td> </tr> <tr> <td colspan="3">特別活動</td> </tr> <tr> <td colspan="3">自立活動</td> </tr> <tr> <td colspan="3">総合的な学習・探究の時間</td> </tr> </tbody> </table>	小	中	高	日常生活の指導			遊びの指導			教科別の指導			特別活動			自立活動			総合的な学習・探究の時間			<p>○生命・健康の維持を図り、感覚・運動機能の向上に努めながら、集団生活や社会生活への参加を図る。</p>						
小	中	高																													
日常生活の指導																															
遊びの指導																															
教科別の指導																															
特別活動																															
自立活動																															
総合的な学習・探究の時間																															

4 教育課程の構造

		学校教育目標		学部教育目標		各教科													特別の教科 道徳	特別活動	自立活動	外国語活動	総合的な学習・探究の時間
						国語	社会・地歴・公民	算数・数学	理科	生活	体育・保健体育	音楽	図画工作・美術	外国語	家庭・技術家庭	情報	学校設定教科	専門科目	特別の教科 道徳	特別活動	自立活動	外国語活動	総合的な学習・探究の時間
		日常生活の指導	遊びの指導	生活単元学習	作業学習	国語	社会・地歴・公民	算数・数学	理科	生活	保健体育	音楽	図画工作・美術	外国語	家庭・技術・家庭 職業・家庭	情報	学校設定教科	専門科目に 関する教科目	特別の教科 道徳	特別活動	自立活動	外国語活動	総合的な学習・探究の時間
小学部	(単一障がい)	肢体不自由 I 課程				国語	社会	算数	理科	生活	体育	音楽	図工	外国語	家庭			特道徳	特活	自立	外活	総学	
		病弱 I 課程				国語	社会	算数	理科	生活	体育	音楽	図工	外国語	家庭			特道徳	特活	自立	外活	総学	
	(重複障がい)	重複 I 課程				国語	社会	算数	理科	生活	体育	音楽	図工	外国語	家庭			特道徳	特活	自立	外活	総学	
		II 課程	日生	遊び	生単	国語		算数		生活	体育	音楽	図工					特道徳	特活	自立	外活	総学	
	III 課程	日生	遊び	生単	国語		算数		生活	体育	音楽	図工					特道徳	特活	自立	外活	総学		
	IV 課程	日生	遊び		国語		算数		生活	体育	音楽	図工					*	特活	自立	外活	総学		
中学部	(単一障がい)	肢体不自由 I 課程				国語	社会	数学	理科		保健	音楽	美術	(外国語)	技家			特道徳	特活	自立		総学	
		病弱 I 課程				国語	社会	数学	理科		保健	音楽	美術	(外国語)	技家			特道徳	特活	自立		総学	
	(重複障がい)	重複 I 課程				国語	社会	数学	理科		保健	音楽	美術	(外国語)	職・家			特道徳	特活	自立		総学	
		II 課程	日生		生単	作業	国語	社会	数学	理科		保健	音楽	美術	(外国語)	職・家		特道徳	特活	自立		総学	
	III 課程	日生		生単	作業	国語		数学		保健	音楽	美術					特道徳	特活	自立		総学		
	IV 課程	日生				国語		数学		保健	音楽	美術					*	特活	自立		総学		
高等部	(単一障がい)	肢体不自由 I 課程				国語	地歴・公民	数学	理科		保健	音楽	美術	(外国語)	家庭	情報	産業社会 と人間	農業	工業	商業	家庭		総探
		病弱 I 課程				国語	地歴・公民	数学	理科		保健	音楽	美術	(外国語)	家庭	情報	産業社会 と人間	農業	工業	商業	家庭		総探
	(重複障がい)	重複 I 課程				国語	地歴・公民	数学	理科		保健	音楽	美術	(外国語)	家庭								総探
		II 課程	日生		生単	作業	国語		数学		保健	音楽	美術		家庭								*
	III 課程	日生		生単	作業	国語		数学		保健	音楽	美術										*	総探
	IV 課程	日生				国語		数学		保健	音楽	美術										*	総探

*…小中学部IV課程、高等部II III IV課程の特別の教科道徳の内容は、各教科等を合わせた指導の中で行うとともに、教育活動全体を通して行う。

5 校 時 表

	小学部	中学部	高等部
8:45	朝の会	朝の会	朝の会
9:00	1 限	1 限	1 限
9:45	2 限	2 限	2 限
9:50	3 限	3 限	3 限
10:35			
10:45	4 限	4 限	4 限
11:30	給食 ・ 昼休み	給食 ・ 昼休み	給食 ・ 昼休み
11:35	5 限	5 限	5 限
12:20	6 限	6 限	6 限
13:20	帰りの会	帰りの会	帰りの会
14:05			
14:10			
14:55			
15:05			

※ 上表の中で、下線のある時刻にチャイムが鳴る。

Ⅲ 小学部

1 指導の形態別授業時数

(1) 単一障がい学級	肢体不自由	I 課程
単一障がい学級	病弱	I 課程
重複障がい学級	肢体不自由・病弱	I 課程

指導の形態		1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
各教科	国語	306	315	245	245	175	175	○下記の時間を減じて、自立活動の時間に充てる。 1・2年生…生活、体育 3・4年生…社会、音楽 体育 5・6年生…社会、音楽 家庭、体育
	社会	—	—	50	70	70	70	
	算数	136	175	175	175	175	175	
	理科	—	—	90	105	105	105	
	生活	68	70	—	—	—	—	
	音楽	68	70	35	35	35	35	
	図画工作	68	70	70	70	70	70	
	家庭	—	—	—	—	35	35	
	体育	34	35	35	35	35	35	
	外国語	—	—	—	—	70	70	
特別の教科 道徳		34	35	35	35	35	35	
特別活動	学級活動	34	35	35	35	35	35	
自立活動		102	105	105	105	105	105	
総合的な学習の時間		—	—	70	70	70	70	
外国語活動		—	—	35	35	—	—	
総授業時数		850	910	980	1015	1015	1015	

(2) 重複障がい学級 II 課程

指導の形態		1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	170	175	175	140	140	140	○日常生活の指導に充てる時間は、各学年次のように計画する。 1・2・3年生 係り仕事・朝の会 36分×5日 給食指導 9分×5日 4・5・6年生 係り仕事・朝の会 27分×5日 給食指導 9分×5日
	遊びの指導	68	70	—	—	—	—	
	生活単元学習	68	70	140	140	140	140	
生活		0	0	0	0	0	0	
国語		102	140	175	175	175	175	
算数		102	105	105	140	140	140	
音楽		68	70	70	70	70	70	
図画工作		68	70	70	70	70	70	
体育		34	35	35	35	35	35	
特別の教科 道徳		34	35	35	35	35	35	○生活科は、各教科等を合わせた指導及び学校生活全般で扱い、指導、評価を行う。
特別活動	学級活動	34	35	35	35	35	35	
自立活動		102	105	140	175	175	175	
総授業時数		850	910	980	1015	1015	1015	

(3) 重複障がい学級

Ⅲ課程

指導の形態		1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考	
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	204	210	210	210	210	210	<p>○日常生活の指導に充てる時間は、各学年次のように計画する。</p> <p>1・2・3年生 排泄の指導 10分×5日 係りの仕事 15分×5日 朝の会 20分×5日 給食指導 9分×5日</p> <p>4・5・6年生 排泄指導 6分×5日 係りの仕事 15分×5日 朝の会 15分×5日 給食指導 9分×5日</p> <p>○生活科は、各教科等を合わせた指導及び学校生活全般で扱い、指導、評価を行う。</p>	
	遊びの指導	68	70	70	70	70	70		
	生活単元学習	68	70	70	70	70	70		
生	活	0	0	0	0	0	0		
国	語	68	70	105	105	105	105		
算	数	68	70	105	105	105	105		
音	楽	68	70	70	70	70	70		
図	画	工	作	68	70	70	70		70
体	育	34	35	35	35	35	35		
特別の教科 道徳		34	35	35	35	35	35		
特別活動	学級活動	34	35	35	35	35	35		
自	立	活	動	136	175	175	210		210
総	授	業	時	数	850	910	980		1015

(4) 重複障がい学級

Ⅳ課程

指導の形態		1年	2年	3年	4年	5年	6年	備考	
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	238	245	245	245	245	245	<p>○日常生活指導に充てる時間は次のように計画する。</p> <p>朝の健康観察 10分×5日 排泄指導 15分×5日 朝の会 20分×5日 歯磨き指導 9分×5日 給食指導 9分×5日</p> <p>○生活、国語、算数、体育については、他の教科や領域、合わせた指導及び学校生活全般で扱い、指導、評価を行う。</p> <p>○特別の教科道徳の内容は、各教科等を合わせた指導の中で行うとともに、教育活動全体を通して行う。</p>	
	遊びの指導	68	70	70	70	70	70		
	生活単元学習	—	—	—	—	—	—		
生	活	0	0	0	0	0	0		
国	語	0	0	0	0	0	0		
算	数	0	0	0	0	0	0		
音	楽	68	70	70	70	70	70		
図	画	工	作	34	35	35	35		35
体	育	0	0	0	0	0	0		
特別の教科 道徳		0	0	0	0	0	0		
特別活動	学級活動	34	35	35	35	35	35		
自	立	活	動	408	455	525	560		560
総	授	業	時	数	850	910	980		1015

2 道徳科指導計画

	1 年			2 年			3 年		
	主題名	内容項目	配当時間	主題名	内容項目	配当時間	主題名	内容項目	配当時間
4月	みんなでのしく	友情・信頼 B(9)	1	学校大すき	よりよい学校生活 C(14)	1	友だち屋	友情・信頼 B(9)	1
	あいさつでげんきに	礼儀 B(8)	1	学校たんけん	親切・思いやり B(6)	1	電話のおじぎ	礼儀 B(8)	1
				できるよポントくん	節度・節制 A(3)	1	ドンマイ！ドンマイ！	相互理解、寛容 B(10)	1
5月	みんなでもまろう	規則の尊重 C(10)	1	そこだよポントくん	節度・節制 A(3)	1	千ばづる	正直・誠実 A(2)	1
	がっこうたんけん	感謝 B(7)	1	およげないりすさん	友情・信頼 B(9)	1	目をさますたね	自然愛護 D(18)	1
	わたしにできること	勤労公共の精神 C(12)	1	げんかんそうじ	家族愛 C(13)	1	清作のおてつだい	家族愛 C(13)	1
	みんなみんないきている	生命の尊さ D(17)	1	くろぶたのしっぱい	規則の尊重 C(10)	1	心の優先席	規則の尊重 C(10)	1
6月	おたんじょうびれっしや	生命の尊さ D(17)	1	あいさつがきれいな王さま	礼儀 B(8)	1	はた・らく	勤労公共の精神 C(12)	1
	きんのおの	正直・誠実 A(2)	1	やさしい村の子どもたち	公正・公平 C(11)	1	わたしのしたこと	親切、思いやり B(6)	1
	がっこうまでのみち	感謝 B(7)	1	おとうとのたんじょう	生命の尊さ D(17)	1	いのちのまつり	生命の尊さ D(18)	1
	かぼちゃのつる	節度・節制 A(3)	1	わたしたちもしごとをしたい	勤労公共の精神 C(12)	1	いただきます	生命の尊さ D(18)	1
7月	まちたんけん	伝統と文化の尊重 C(15)	1	オリンピックとパラリンピックのはた	国際理解、親善 C(16)	1	キツネおどり	伝統と文化の尊重 C(16)	1
	あおしんごう	節度・節制 A(3)	1	三べんかんがえて	節度・節制 A(3)	1	うわさ話・つらい気持ち	善悪の判断 A(1)	1
9月	ぶうたのやくめ	公正・公平 C(11)	1	ビーマンマンとよふかし大まおう	節度・節制 A(3)	1	世界-うつくしい体そうをめざして-内村航平-	個性の伸長 A(4)	1
	おとしよりといっしょに	親切・思いやり B(6)	1	わたしのおじいさん、おばあさん	家族愛 C(13)	1	ないた赤おに	友情・信頼 B(9)	1
	ぼくはいかない	善悪の判断 A(1)	1	ぐみの木と小鳥	親切・思いやり B(6)	1	郷土かるた	伝統と文化の尊重 C(16)	1
	わきだしたみず	生命の尊さ D(17)	1	ぼくのまちも、ひかてる！	伝統と文化の尊重 C(15)	1	こまるのはだれ？これっていいのかな？	規則の尊重 C(11)	1
10月	ちゃんとのたつじん①	節度・節制 A(3)	1	くつかくし	善悪の判断 A(1)	1	みんなでつくろう！がっきゅうルールブック	規則の尊重 C(11)	1
	ちゃんとのたつじん②	節度・節制 A(3)	1	レッドカード	善悪の判断 A(1)	1	ぼくらは小さななかにはかせ	希望、勇気、努力 A(5)	1
	うちのねこ	自然愛護 D(18)	1	モムンとヘーテ	友情・信頼 B(9)	1	わたしだって	相互理解、寛容 B(10)	1
	もみじがり	伝統と文化の尊重 C(15)	1	のこぎり山の大ぶつ	公正・公平 C(11)	1	花さき山	感動、畏敬の念 D(20)	1
11月	すてきなことば「あふたあゆう」	よりよい学校生活 C(14)	1	お月さまがみている	正直・誠実 A(2)	1	思い切って言ったらどうなるの？	善悪の判断 A(1)	1
	ぼくはずかしいや	正直・誠実 A(2)	1	ジョゼクんとおりがみ	国際理解、親善 C(16)	1	いちょうの木をまもるために	よりよい学校生活 C(15)	1
	はしうえのおおかみ	親切・思いやり B(6)	1	はたけの先生	感謝 B(7)	1	ぼく知らなかったよ	感謝 B(7)	1
	ルールがないとどうなるの	規則の尊重 C(10)	1	うつくしいもの、うつくしいところ	感動、畏敬の念 D(19)	1	お母さん、かぜでねこむちびまる子ちゃん-	家族愛 C(14)	1
12月	一にち十ぶん	希望、勇気、努力 A(5)	1	おかあさんとのやくそく	善悪の判断 A(1)	1	生きたれいぎ	礼儀 B(8)	1
	だいじなわすれもの	礼儀 B(8)	1	かいらんぼん	伝統と文化の尊重 C(15)	1	太郎のいどう教室	節度・節制 A(3)	1
1月	エマさんのこたえあわせ	国際理解、親善 C(16)	1	小さなできごと	礼儀 B(8)	1	おばあちゃんのおせち	感謝 B(7)	1
	ひつじかいとおおかみ	善悪の判断 A(1)	1	きれいになつたずこうしつ	勤労公共の精神 C(12)	1	四人五きやく	よりよい学校生活 C(15)	1
2月	なまはげ	善悪の判断 A(1)	1	おりがみ名人	希望、勇気、努力 A(5)	1	きょうりよくクラス	友情・信頼 B(9)	1
	ぎんのしずく	家族愛 C(13)	1	ミーボーしんぶん	個性の伸長 A(4)	1	やくそくだもん	規則の尊重 C(11)	1
	二わのことり	友情・信頼 B(9)	1	とくべつなたからもの	親切・思いやり B(6)	1	お日さまの心で	公正・公平 C(12)	1
	ぼくにもあるかな	個性の伸長 A(4)	1	一まいのしゃしん	生命の尊さ D(17)	1	赤い灯ゆれる	友情・信頼 B(9)	1
3月	ひしゃくぼし	感動、畏敬の念 D(19)	1	わたしものがたり	生命の尊さ D(17)	1	うみねことたんぼぼ	生命の尊さ D(17)	1
	もうすぐ二ねんせい	よりよい学校生活 C(14)	1	さくらの木といっしょに	自然愛護 D(18)	1	海をわたるランドセル	国際理解、親善 C(17)	1
	時間合計		34	時間合計		35	時間合計		35

	4 年			5 年			6 年		
	主題名	内容項目	配当時間	主題名	内容項目	配当時間	主題名	内容項目	配当時間
4月	貝がら	相互理解、寛容 B(10)	1	帰ってきた、はやぶさ	真理の探究 A(6)	1	一年生のお世話係－アフター・ユニー	よりよい学校生活 C(16)	1
	みんなのためにできること	勤労、公共の精神 C(13)	1	一枚の写真から	生命の尊さ D(19)	1	松井さんの笑顔	感謝 B(8)	1
	サッカーボール	善悪の判断 A(1)	1	ひみつのトレーニング	節度、節制 A(3)	1	温かいおまんじゅう	礼儀 B(9)	1
5月	十さいのプレゼント	感動、畏敬の念 D(20)	1	シンボルマークにこめられたものは	伝統と文化の尊重 C(17)	1	夢に向かって－三浦雄一郎－	希望、勇気、努力 A(5)	1
	さか上がり	よりよい学校生活 C(15)	1	助け合い傘	感謝 B(8)	1	陽子、ドンマイ！	友情、信頼 B(10)	1
	お母さんのせいきゅう書	家族愛 C(14)	1	氷上の挑戦－浅田真央－	希望、勇気、努力 A(5)	1	きみの声が聞きたい	真理の探究 A(6)	1
	かさ	親切、思いやり B(6)	1	まかせてみようよ	相互理解、寛容 B(11)	1	本屋のお姉さん	正直、誠実 A(2)	1
6月	ねがいをつみ上げた石橋	伝統と文化の尊重 C(16)	1	みんなの劇	相互理解、寛容 B(11)	1	世界がおどろく七分間清掃	勤労、公共の精神 C(14)	1
	どっちがいいか	規則の尊重 C(11)	1	いっしょに何をしようかな	国際理解、親善 C(18)	1	かっこいいお父さん	家族愛 C(15)	1
	自分たちにできるエコ活動	規則の尊重 C(11)	1	ガンジーのいかり	公正、公平 C(13)	1	本当にだいじょうぶ？	節度、節制 A(3)	1
	わたしのゆめ	個性の伸長 A(4)	1	日本の心とかたち－真・行・草－	礼儀 B(9)	1	「マナーからルールへ、そしてマナーへ」	規則の尊重 C(12)	1
7月	良太のはんだん	公正、公平 C(12)	1	救急車	規則の尊重 C(11)	1	いらなくなつたきまり	規則の尊重 C(12)	1
	早起きは三文の徳	節度・節制 A(3)	1	海を耕す人たち	自然愛護 D(20)	1	自然のゆりかご	自然愛護 D(20)	1
9月	ゲームのやくそく	友情・信頼 B(9)	1	ドッジボールを百倍楽しくする方法	友情、信頼 B(10)	1	広村堤防の清掃ボランティア	勤労、公共の精神 C(13)	1
	石油列車、東北へ向かって走れ！	感謝 B(7)	1	「スイミー作戦」「ガンジー作戦」	公正、公平 C(13)	1	鑑真和上	希望、勇気、努力 A(5)	1
	ぼくはMVP	正直・誠実 A(2)	1	短所も長所	個性の伸長 A(4)	1	森川君のうわさ	公正、公平 C(13)	1
	学級新聞作り	相互理解、寛容 B(10)	1	セルフジャッジ	規則の尊重 C(12)	1	地球があぶない	自然愛護 D(20)	1
10月	心の体温計	節度・節制 A(3)	1	世界の文化遺産	伝統と文化の尊重 C(17)	1	技術で「障がい」をなくしたい－遠藤謙－	真理の探究 A(6)	1
	せきが空いているのに	親切、思いやり B(6)	1	家族の紹介	家族愛 C(15)	1	お茶の心	伝統と文化の尊重 C(17)	1
	ブラジルからの転入生	友情・信頼 B(9)	1	変えたもの・変えなかったもの－内川聖－	個性の伸長 A(4)	1	いちばん近い自然「里山」	伝統と文化の尊重 C(17)	1
	みかん出し	勤労、公共の精神 C(13)	1	星が光った	感動、畏敬の念 D(21)	1	ブランコ乗りとビエロ	相互理解、寛容 B(11)	1
11月	雨のバスでいりゆう所で	規則の尊重 C(11)	1	約束	相互理解、寛容 B(11)	1	これが日本	伝統と文化の尊重 C(17)	1
	せいいっぱい生きる	生命の尊さ D(18)	1	命をかけて命を守る－山岳警備隊－	生命の尊さ D(19)	1	フーバーさん	国際理解、親善 C(18)	1
	鳥にのこしたかきの実	自然愛護 D(19)	1	生きる力を引き出す笑い	生命の尊さ D(19)	1	六千人の命を救った決断－杉浦千畝－	公正、公平 C(13)	1
	「祭り日」	友情・信頼 B(9)	1	働く幸せ－チョーク工場の本田さん－	勤労、公共の精神 C(14)	1	すあしにサンダルの天使－マザー・テレサ－	よりよく生きる D(22)	1
12月	十六番目の代表選手	友情・信頼 B(9)	1	藤井駅のホームのでできごと	親切、思いやり B(7)	1	命のおにぎり	親切、思いやり B(7)	1
	ノーベル賞の生みの親－アルフレッドノーベル－	希望、勇気、努力 A(5)	1	自然を守るエゾリス	自然愛護 D(20)	1	誠実な人－吉田松陰－	正直・誠実 A(2)	1
1月	えがおの花大作戦	よりよい学校生活 C(15)	1	「また来てね」	正直・誠実 A(2)	1	めざせ、百八十回！	個性の伸長 A(4)	1
	百羽のつる	感動、畏敬の念 D(20)	1	心の管理人	善悪の判断 A(1)	1	最後のひと葉	親切、思いやり B(7)	1
2月	ぼくの生まれた日－ドラえもん－	家族愛 C(14)	1	ふるさと－六年生を送る会－	よりよい学校生活 C(16)	1	生命のメッセージ	生命の尊さ D(19)	1
	図書館で	規則の尊重 C(11)	1	ミレーとルソー	友情、信頼 B(10)	1	命と向き合う人生	生命の尊さ D(19)	1
	お礼の手紙	礼儀 B(8)	1	富士観測所をつくるために	希望、勇気、努力 A(5)	1	負けないで	生命の尊さ D(19)	1
	さくらのかけ橋	国際理解、親善 C(17)	1	明日へ向かって	勤労、公共の精神 C(14)	1	大空に飛び立つ鳥	善悪の判断 A(1)	1
3月	レスキュー隊	生命の尊さ D(18)	1	ちひろの思い	勤労、公共の精神 C(14)	1	青の洞門	感動、畏敬の念 D(21)	1
	五百人からもらった命	生命の尊さ D(18)	1	マララ・ユスフザイ－人の少女が世界を変える－	よりよく生きる D(22)	1	わたしはひろがる	よりよく生きる D(22)	1
	時間合計		35	時間合計		35	時間合計		35

3 外国語活動指導計画

- (1) 外国語活動の名称 ハロータイム
- (2) 実施学年 小学部 I 課程 3年1名 (児童数1名 指導者数1名)
4年2名 (児童数2名 指導者数1名)
- (3) 学習計画

①目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- i 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。
- ii 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
- iii 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

②年間指導計画

【第3学年】(35時間)

月	単元名	単元目標	学習活動	時間数
4月 5月 6月 7月	Hello! あいさつをして 友だちになろう	<ul style="list-style-type: none"> ・世界にはさまざまな言語があることに気付くとともに、挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。 ・名前を言って挨拶をし合う。 ・相手に伝わるように工夫しながら、名前を言って挨拶を交わそうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界のいろいろな国の挨拶を聞く。 ・音声を聞き、国旗と世界の子どもたちとを線で結ぶ。 ・ペアになって挨拶し、名前を言い合う。 <p>Hello. Hi. I' m (). Goodbye. See you.</p>	2
	How are you? ごきげんいかが?	<ul style="list-style-type: none"> ・表情やジェスチャーの大切さに気づき、感情や状態を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・表情やジェスチャーを工夫しながら挨拶をし合う。 ・表情やジェスチャーを付けて相手に伝わるように工夫しながら、挨拶をしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音声を聞き、登場人物と様子を表すイラストを線で結ぶ。 ・それぞれのジェスチャーについて、どんなことを表しているかを知る。 ・児童同士で、様子を尋ねたり、ジェスチャーをつけて答えたりする。 <p>How are you? I' m (happy). fine happy good sleepy hungry tired sad great</p>	2

<p>4月 5月 6月 7月</p>	<p>How many? 数えてあそぼう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本と外国の数の教え方の違いから、多様な考え方があることに気づき、1から20までの数の言い方や数の尋ね方に慣れ親しむ。 ・数について尋ねたり答えたりして伝え合う。 ・相手に伝わるように工夫しながら、数を尋ねたり答えたりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誌面の周りの任意の数字におはじきを置き、おはじきを置いている数字が発音されたら、おはじきを取る。 ・じゃんけんをし、その結果を表に○（勝ち）△（あいこ）×（負け）で記入する。 ・デジタル教材を視聴し、どの国の数の言い方か、□に番号を記入する。 ・デジタル教材の画面に映し出されるものについて、数を尋ねたり答えたりする。 ・好きな数だけりんごの色を塗り、児童同士でりんごの数を尋ね合う。 ・画数を尋ねたり答えたりして、好きな漢字を紹介し合う。 <p>How many ()? Yes. That's right. No. Sorry. Ball pencil crayon circle apple tomato</p>	<p>4</p>
	<p>I like blue. すきなものをつたえよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な考え方があることや、音声やリズムについて外来語を通して日本語と英語の違いに気づき、色の言い方や好みを表したり好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・自分の好みを伝え合う。 ・相手に伝わるように工夫しながら、自分の好みを紹介しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誌面の虹を自由に塗り、自分の虹を完成させる。 ・デジタル教材を視聴し、世界の子供たちの描く虹を見て、それぞれの違いに気づく。 ・音声を聞き、それぞれの登場人物が好きな色を選んで線で結ぶ。 ・音声を聞き、登場人物の好きなスポーツとそうでないスポーツの番号を表に記入する。 ・会話を聞き、登場人物の好きなものを○で囲む。 ・登場人物が好きかどうかを予想して○か△を書き、その予想が合っているかを確認するために登場人物にDo you like~?と尋ねる。 ・表にあるものについて、友だちの好みを予想し、インタビューをして確かめ、その結果を□に記入する。 ・好きなものを言って自己紹介する。 <p>I like (). Do you like (). Yes, I do. / No, I don't. I don't like ().</p>	<p>4</p>

<p>9月 10月 11月 12月</p>	<p>What do you like? 何が好き?</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本語と英語の音声の違いに気付き、身の回りのものの言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 誌面の任意のイラスト上におはじきを置き、おはじきを置いている絵の語が発音されたら、おはじきを取る。 音声を聞き、それぞれの登場人物が好きなものを選んで線で結ぶ。 ペアで互いにどんな果物が好きかを予想して尋ね、分かったことを表に記入する。 デジタル教材を視聴し、登場人物が何が好きかを予想して、それを確認するために、What~do you like?と登場人物に尋ねる。 児童同士で好きなもの(食べ物、色など)を尋ね合い、表に記入する。 <p>What do you like? I like (). Tennis soccer food pizza steak grapes</p>	<p>4</p>
	<p>ALPHABET アルファベット となかよし</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本語と英語の音声の違いに気付き、身の回りのものの言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を視聴し、さまざまな標示が何を表しているかを考えながら、アルファベットの大文字を知る。 アルファベットの大文字を自由に仲間分けし、カードを貼る。 自分や友だち、家族などの頭文字のカードをもらって貼る。 <p>(), please. Here you are. Thank you. You' re welcome.</p>	<p>4</p>
<p>1月 2月 3月</p>	<p>This is for you. カードをおくろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> 日本語と英語の音声の違いに気付き、形の言い方や、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材を活用して、さまざまなシルエットを見てそれが何かを当てたり、さまざまな形の窓を開けて後ろに隠れているものが何かを当てたりする。 音声を聞き、聞いた形をさし示す。 デジタル教材を視聴し、世界にはさまざまなグリーティングカードがあることを知る。 欲しい形をやり取りする音声を聞き、誰がどの作品を作ったのかを考えて線で結ぶ。 いろいろな色の形を集め、プレゼントするグリーティングカードを作る。 <p>What do you want? (), please. Here you are. This is for you.. Thank you. You' re welcome.</p>	<p>5</p>

<p>1月 2月 3月</p>	<p>What's this? これなあに？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・クイズを出したり答えたりし合う。 ・相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・虫眼鏡に映るものを見て、それが何かを当てる。 ・映像を視聴し、それが何かを当てる。 <p>What's this? Hint, please. It's (). That's right.</p>	<p>5</p>
	<p>Who are you? きみはだれ？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付き、誰かと尋ねたり、それに答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・絵本などの短い話を聞いて、おおよその内容が分かる。 ・絵本などの短い話を反応しながら聞くとともに、相手に伝わるように台詞をまねて言おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせを聞いたり、絵本についての質問に答えたりする。 ・台詞を真似て言う。 <p>Are you ()? Yes, I am. / No, I'm not. Who are you? I'm (). Who am I? Hint, please.</p>	<p>5</p>

【第4学年】(35時間)

月	単元名	単元目標	学習活動	時間数
4月 5月 6月 7月	Hello, world! 世界のいろいろなことばであいさつをしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな挨拶の仕方があることに気付くとともに、さまざまな挨拶の言い方に慣れ親しむ。 ・友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合う。 ・相手に配慮しながら、友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を視聴し、さまざまな挨拶の仕方を知り、気付いたことを□に記入する。 ・音声を聞いて、どの国の挨拶かを考え、□に番号を記入する。 ・友達と挨拶をし、友達の名前と好きなものを表に記入する。 ・デジタル教材を視聴し、午前、午後、就寝前の英語での挨拶の仕方を知る。 ・音声を聞き、登場人物の名前や好きなものなどを聞き取って、□に記入する。 ・教室を歩いてペアになり、挨拶をして好きなものやことを伝え合い、相手について分かったことを表に記入する。 <p>Hello. Good [morning / afternoon / night]. I like (). Goodbye. See you.</p>	2
	Let's play cards. 好きな遊びを伝えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、さまざまな動作、遊びや天気の違い、遊びに誘う表現に慣れ親しむ。 ・好きな遊びについて尋ねたり答えたりして伝え合う。 ・相手に配慮しながら、友達を自分の好きな遊びに誘おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材で、日本や世界の子どもたちの遊びの様子を視聴し、分かったことを発表する。 ・絵カードを見ながら言う。 ・音声を聞き、登場人物と該当する遊びを線で結ぶ。 ・音声で天気と衣類について聞き、天気と衣類を線で結ぶ。 ・デジタル教材を視聴し、世界のさまざまな天気について分かったことを発表する。 ・音声で、国名と天気を聞き取り、□に天気の絵を描く。 <p>Let's (play cards). Yes, let's. Sorry. How's the weather? It's [sunny / rainy / cloudy / snowy]. Stand up. / Sit down. / Stop. / Walk. / Jump. / Run. / Turn around.</p>	4
	I like Mondays. 好きな曜日は何かな？	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の同年代の子どもたちの生活を知るとともに、曜日の言い方や曜日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・自分の好きな曜日について、尋ねたり答えたりして伝え合う。 ・相手に配慮しながら、自分の好きな曜日を伝え合おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の子どもたちの平日の放課後や週末の過ごし方を知る。 ・教室を歩いて回りペアになって、学級でしたい遊びについて紹介し合い、表に記入する。 ・登場人物の子どもの一週間の予定を聞き、そのあとの曜日クイズに答える。 ・自分の一週間の予定について、曜日クイズを出し合う。 ・デジタル教材で、登場人物が曜日や遊びについてやり取りする様子を視聴し、分かったことを□に記入する。 ・教室を歩いてペアになり、自分と同じ曜日が好きな人を見つける。 <p>What's day is it? It's (). Do you like ()? Monday Tuesday Wednesday Thursday Friday Saturday Sunday mushroom watermelon soup pie sandwich fresh</p>	3

<p>4月 5月 6月 7月</p>	<p>What time is it? 今、何時?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の国や地域によって時刻が異なることに気付くとともに、時刻や生活時間の言い方や尋ね方に慣れ親しむ。 ・自分の好きな時間について、尋ねたり答えたりして伝え合う。 ・相手に配慮しながら、自分の好きな時間について伝え合おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材の視聴を通して、登場人物がどの時刻に何をするか、時刻と日課を線で結ぶ。 ・デジタル教材を視聴し、時計を完成させ、時刻と日課を線で結ぶ。 ・登場人物の好きな時刻を聞き取り、時計を完成させる。 ・気に入っている時刻とその理由を伝え合う。 	<p>4</p>
<p>9月 10月 11月 12月</p>			<p>What time is it? It's (). How about you? forty fifty wake-up breakfast study lunch snack dinner homework TV bath bed dream</p>	<p>4</p>
	<p>Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文房具などの学校で使う物や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。 ・相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を視聴し、文房具の言い方を知り、その文房具の数を数える。 ・指導者が誌面や身の回りの物について出すヒントを聞き、それが何かを答える。 ・音声で筆箱の中身の紹介を聞き、誰の筆箱かを考えて名前を書く。 ・デジタル教材を視聴し、世界の子どもたちがかばんの中に持っている物を知り、自分たちの持ち物と比べて気付いたことを□に記入する。 ・ペアの一人が文房具カードを誌面に置いて自分の文房具セットを作り、相手にそれを伝えて同じ文房具セットを作る。 ・身近な人のために文房具セットを作り、誰のためにどのようなセットを作ったかを紹介する。 <p>Do you have (a pen)? Yes, I do. / No, I don't. I [have / don't have] (a pen). This is for you.</p>	<p>4</p>
	<p>Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気付き、活字体の小文字と、その読み方に慣れ親しむ。 ・身の回りにあるアルファベットの文字クイズを出したり答えたりする。 ・相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材で、身の回りにある看板や標示を見て、アルファベットの小文字を知る。 ・絵カードや誌面の小文字を見ながら、歌やチャンツを歌ったり言ったりする。 ・誌面にある街のイラストからアルファベットの小文字を探して発表する。 ・誌面の周りにはある小文字を使っておはじきゲームをする。 ・音声を聞き、どの看板や標示かを考えて番号を書く。 ・五つの標示から一つ選び、ペアになって文字について尋ね合い、相手の標示を当てる。 ・10色から好きな色を選び、ペアになって文字について尋ね合い、相手の色を当てる。 <p>Look. What's this? Hint, please. How many letters? I have (six). Do you have (a 'b')? Yes, I do. / No, I don't. That's right. Sorry. Try again.</p>	<p>4</p>

<p>9月 10月 11月 12月</p>	<p>What do you want? ほしいものは何かな?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食材の言い方や、欲しいものを尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。 ・欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニューを紹介し合う。 ・相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を視聴し、世界の市場の様子を見てそれぞれの国の違いに気付く。 ・リズムよくチャンツを言う。 ・おはじきを置いている絵の語が発音されたら、おはじきを取る。 ・登場人物が自分のフルーツパフェの中身を紹介するのを聞き、線で結ぶ。 ・果物カードをやり取りして、カードをパフェ台紙に貼り、パフェを作る。 ・デジタル教材を視聴し、イラストと文字を線で結ぶ。 ・食べ物カードのやり取りをして、ピザを作るための具材を集める。グループで考えたオリジナルピザを紹介する。 <p>What do you want? I want (), please. How many? (), please. Here you are. Thank you.</p>	<p>5</p>
<p>1月 2月 3月</p>	<p>This is my favorite place. お気に入りの場所をしようかいしよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界と日本の学校生活の共通点や相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、教科名や教室名の言い方に慣れ親しむ。 ・自分が気に入っている校内の場所に案内したり、その場所について伝え合ったりする。 ・相手に配慮しながら、自分が気に入っている場所について伝え合おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者が言う教室名を聞き、誌面にある教室を指さす。 ・教室名に慣れ親しんだあと、音声で道案内を聞き、どの教室かを考えて発表する。 ・音声を聞き、登場人物と教室イラストを線で結ぶ。 ・デジタル教材を視聴し、外国と日本の小学校の違いなど、気付いたことを口に記入する。 ・友達にインタビューし、誌面にある教室が好きな友達の名前を口に記入する。 ・校内の好きな場所を、その理由とともにペアで伝え合う。 ・デジタル教材を視聴し、道案内の仕方に会う。 <p>Go straight. Turn [right / left]. Stop. This is (the music room). This is my favorite place. Why? I like (music).</p>	<p>4</p>
	<p>This is my day. ぼく・わたしの一日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付く、日課を表す表現に慣れ親しむ。 ・絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容が分かたりする。 ・相手に配慮しながら、絵本などの短い話を聞いて反応しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短いまとまりのある話を聞いて、おおよその内容をつかむ。 <p>I wake up (at 6:00). I have breakfast (at 7:00). I go to school. I go home</p>	<p>5</p>

4 総合的な学習の時間

(1) 総合的な学習の時間の名称 「いきいきタイム」

(2) 総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ①学校生活や身近な社会における様々な事柄に触れ、よりよく生活するために必要な知識や技能を身に付ける。
- ②探究的な学習の中に課題を見つけ、よく考えて課題を解決し、学んだことを表現することができるようにする。
- ③探究的な学習において自分や相手を認めながら、主体的に取り組むとともに、積極的に学校生活や身近な社会に参加しようとする態度を養う。

(3) 実施学年・時間数

学年及び課程と児童数、指導者数	時間数	学習活動を行う方法
3年 I 課程 児童1名、指導者1名 4年 I 課程 児童2名、指導者1名 5年 I 課程 児童0名、指導者0名 6年 I 課程 児童5名、指導者3名	70時間	【授業形態】 個別・学年別・グループ別 【学校外施設の利用】 校外学習見学先

(4) 学習計画

年間指導計画

3年

月	題材名	学習内容	時間数	授業形態
4月 5月 6月 7月 9月	○パソコンの使い方を知ろう ○社会見学に行こう（事前事後） ○お楽しみ遠足に行こう	・パソコンの基本的な使い方を学習する。 ・ローマ字表を見ながら、ローマ字打ちを練習する。 ・インターネットを使う際のルールやマナーを学習する。 ・社会見学について期日、日程、見学地などを調べ、しおりにまとめる。 ・遠足の行先や内容を知り、しおりに書き込む。 ・遠足の行先についてインターネットで調べる。	18 10 4	個別 グループ グループ
10月 11月 12月 1月 2月 3月	○パソコンで調べてみよう ○ドリフェスに向けて取り組もう ○調べたことをまとめてみよう	・インターネットを利用して、興味のあることについて調べる。 ・自分の役割を知り、練習に取り組む。 ・自分の興味のあることについて、調べた結果をまとめる。	10 18 10	個別 グループ 個別

4年

月	題材名	学習内容	時間数	授業形態
4月 5月 6月 7月 9月	○キーボードの使い方を覚えよう ○別府の食べ物について調べよう ○社会見学に行こう(事前事後) ○お楽しみ遠足に行こう	・タイピングの練習をしたり、Wordで短い文章を打ったりする。 ・インターネットを利用して、大分県や別府市の郷土料理について調べてまとめる。 ・社会見学について期日、日程、見学地などを調べ、しおりにまとめる。 ・遠足の行先や内容を知り、しおりに書き込む。 ・遠足の行先についてインターネットで調べる。	8 10 10 4	個別 個別 グループ グループ
10月 11月 12月 1月 2月 3月	○別府の食べ物を見学して作ってみよう ○ドリフェスに向けて取り組もう ○十歳を祝う会をしよう	・路線バスなどで現地を見学する。 ・分かったことをもとに、学校で作ってみる。 ・学習したことを1枚の紙にまとめる。 ・自分の役割を知り、練習に取り組む。 ・「十歳を祝う会」に向けて、教師と一緒にKeynoteで成長記録を作る。 ・十歳を祝う会の準備や式の実際を通して、自分の成長を振り返り、実感する。	10 18 10	4年 グループ 4年

5年

月	題材名	学習内容	時間数	授業形態
4月 5月 6月 7月 9月	○Wordやロイロノート等の使い方を知ろう ○別府の観光について調べよう(例 別府八湯、地獄めぐりなど) ○社会見学に行こう(事前事後) ○お楽しみ遠足に行こう	・作文や学習したことをWordにまとめる。 ・自分の好きなことや学習したことなどを、ロイロノートやKeynoteを使ってまとめてみる。 ・画像の貼り付け方、アニメーションや効果音の付け方を知る。 ・インターネットや旅行雑誌などを使って、全国的に有名な観光資源について調べてまとめる。 ・社会見学の見学地について調べ、しおりにまとめ、質問事項などを考える。 ・遠足の行先や内容を知り、しおりに書き込む。 ・遠足の行先についてインターネットで調べる。	8 10 10 4	個別 個別 グループ グループ
10月 11月 12月 1月 2月 3月	○別府の観光地を見学しよう ○ドリフェスに向けて取り組もう ○別府の観光地について調べたことを発表しよう	・事前に質問を考え、路線バスを使って現地に行って調べたり質問したりする。 ・自分の役割を知り、練習に取り組む。 ・調べた内容を基に、ロイロノートやKeynoteでプレゼンを作る。 ・児童集会などで発表する。	10 18 10	5年 グループ 個別

6年

月	題材名	学習内容	時間数	授業形態
4月 5月 6月 7月 9月	○将来の自分について考えよう ○別府の伝統文化について調べよう (例 竹工芸、文化財、地踊り、地域の伝統行事など) ○社会見学に行こう (事前事後) ○お楽しみ遠足に行こう	・仕事図鑑やパソコンで仕事の内容について調べ、仕事の内容について知る。 ・中学部や高等部などの実習の発表を聞いたり、インタビューしたりして将来について考える。 ・調べたことをまとめ、将来の自分について、まとめる。 ・別府市の伝統文化について、インターネットや書籍などを使って調べる。 ・社会見学の見学地について調べ、しおりにまとめ、質問事項などを考える。 ・遠足の行先や内容を知り、しおりに書き込む。 ・遠足の行先についてインターネットで調べる。	10 8 10 4	個別 個別 グループ グループ
10月 11月 12月 1月 2月 3月	○修学旅行に行こう (事前事後) ○別府の伝統文化を見学しよう ○ドリフェスに向けて取り組もう ○別府の伝統文化について、調べたことを発表しよう ○送る会で発表するプレゼンを作ろう	・しおりやプレゼンを見て、行先や行程を知る。 ・しおりに感想をまとめたり動画を編集したりする。 ・事前に質問を考え、路線バスを使って現地に行って調べたり質問したりする。 ・自分の役割を知り、練習に取り組む。 ・調べた内容を基に、KeynoteやPowerPointでプレゼンを作る。 ・児童集会などで調べたことを発表する。 ・在校生やお世話になった先生、保護者に見せる小学部生活の歩みをKeynoteやPowerPointで作る。	5 5 18 5 5	6年 6年 グループ 個別 個別

5 学級活動

	1年		2年		3年	
	題材名	配当時間	題材名	配当時間	題材名	配当時間
4月	新しい学級	3	新しい学級 新転入生を迎える会に向けて	2 2	新しい学級 新転入生を迎える会に向けて	2 2
5月	みんなと仲良くなろう 人権・平和学習	1 1	みんなと仲良くなろう 人権・平和学習	1 1	みんなと仲良くなろう 人権・平和学習	1 1
6月	環境学習 七夕集会の準備をしよう	1 3	環境学習 七夕集会の準備をしよう	1 3	環境学習 七夕集会の準備をしよう	1 3
7月	楽しい夏休み 防災学習事前	1 1	楽しい夏休み 防災学習事前	1 1	楽しい夏休み 防災学習事前	1 1
8月						
9月	新しい学期 交流会の準備をしよう 人権・平和学習	2 1 1	新しい学期 交流会の準備をしよう 人権・平和学習	2 1 1	新しい学期 交流会の準備をしよう 人権・平和学習	2 1 1
10月	ドリフェスに向けて 鶴見小へ手紙を書こう	2 1	ドリフェスに向けて 鶴見小へ手紙を書こう	2 1	ドリフェスに向けて 鶴見小へ手紙を書こう	2 1
11月	ドリフェスの案内状を描こう ドリフェスの思い出 防災学習事前	2 1 1	ドリフェスの案内状を描こう ドリフェスの思い出 防災学習事前	2 1 1	ドリフェスの案内状を描こう ドリフェスの思い出 防災学習事前	2 1 1
12月	人権・平和学習 クリスマス会の準備をしよう もうすぐ冬休み	1 2 1	人権・平和学習 クリスマス会の準備をしよう もうすぐ冬休み	1 2 1	人権・平和学習 クリスマス会の準備をしよう もうすぐ冬休み	1 2 1
1月	新しい学期	2	新しい学期	2	新しい学期	2
2月	バス・給食感謝の会の準備をしよう 人権・平和学習 防災学習事前	1 1 1	バス・給食感謝の会の準備をしよう 人権・平和学習 防災学習事前	1 1 1	バス・給食感謝の会の準備をしよう 人権・平和学習 防災学習事前	1 1 1
3月	お別れ会の準備をしよう 一年間を振り返って	2 1	お別れ会の準備をしよう 一年間を振り返って	2 1	思い出の作品を作ろう 一年間を振り返って	2 1
	時間合計	34	時間合計	35	時間合計	35

	4年		5年		6年	
	題材名	配当時間	題材名	配当時間	題材名	配当時間
4月	新しい学級 新転入生を迎える会に向けて	2 2	新しい学級 新転入生を迎える会に向けて	2 2	新しい学級 新転入生を迎える会に向けて	2 2
5月	みんなと仲良くなろう 人権・平和学習	1 1	みんなと仲良くなろう 人権・平和学習	1 1	みんなと仲良くなろう 人権・平和学習	1 1
6月	環境学習 七夕集会の準備をしよう	1 3	環境学習 七夕集会の準備をしよう	1 3	環境学習 七夕集会の準備をしよう	1 3
7月	楽しい夏休み 防災学習事前	1 1	楽しい夏休み 防災学習事前	1 1	楽しい夏休み 防災学習事前	1 1
8月						
9月	新しい学期 交流会の準備をしよう 人権・平和学習	2 1 1	新しい学期 交流会の準備をしよう 人権・平和学習	2 1 1	新しい学期 交流会の準備をしよう 人権・平和学習	2 1 1
10月	ドリフェスに向けて 鶴見小へ手紙を書こう	2 1	ドリフェスに向けて 鶴見小へ手紙を書こう	2 1	ドリフェスに向けて 鶴見小へ手紙を書こう	2 1
11月	ドリフェスの案内状を描こう ドリフェスの思い出 防災学習事前	2 1 1	ドリフェスの案内状を描こう ドリフェスの思い出 防災学習事前	2 1 1	ドリフェスの案内状を描こう ドリフェスの思い出 防災学習事前	2 1 1
12月	人権・平和学習 クリスマス会の準備をしよう もうすぐ冬休み	1 2 1	人権・平和学習 クリスマス会の準備をしよう もうすぐ冬休み	1 2 1	人権・平和学習 クリスマス会の準備をしよう もうすぐ冬休み	1 2 1
1月	新しい学期	2	新しい学期	2	新しい学期	2
2月	バス・給食感謝の会の準備をしよう 人権・平和学習 防災学習事前	1 1 1	バス・給食感謝の会の準備をしよう 人権・平和学習 防災学習事前	1 1 1	バス・給食感謝の会の準備をしよう 人権・平和学習 防災学習事前	1 1 1
3月	お別れ会の準備をしよう 一年間を振り返って	2 1	お別れ会の準備をしよう 一年間を振り返って	2 1	思い出の作品を作ろう 一年間を振り返って	2 1
	時間合計	35	時間合計	35	時間合計	35

6 クラブ活動

クラブの名称	年間指導計画の概要	年間実施計画	備考
あそびクラブ (4～6年)	○異年齢集団の活動を通して、望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図ることをねらいとする。 ○集団で楽しめる遊びを選択し、児童の実態に応じて決定する。	前期(4)後期(6) 【体育的活動】 おにごっこ・かくれんぼ など 【文化的活動】 アイロンビーズ・すごろく など	活動内容については、児童の実態や体調を考慮し、必要に応じてグループ分けを行い、実施する。 *週あたり 前期0.25時間 後期0.32時間

7 児童会活動

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間合計
活動内容	1年生を迎える会 (1) 集会活動 (1) (児童集会)	集会活動 (1) (全校集会)	集会活動 (1) (児童集会)	七夕集会 (1) 集会活動 (1) (全校集会)		集会活動 (1) (児童集会)	集会活動 (1) (全校集会)	集会活動 (1) (児童集会)	クリスマス会 (1) 集会活動 (1) (全校集会)	集会活動 (1) (児童集会)	給食感謝の会(給食時) バス感謝の会(朝会時) 集会活動 (1) (全校集会)	6年生を送る会 (1) 集会活動 (1) (児童集会)	
配当時間	2	1	1	2	0	1	1	1	2	1	1	2	15

8 学校行事

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間合計						
													1年	2年	3年	4年	5年	6年	
儀式的行事	始業式(1) 【2・6年】 入学式(1) 【1・6年】				終業式(1)		始業式(1)			終業式(1)	始業式(1)		卒業式(1) 【5・6年】 修了式(1) 【1・5年】	6	6	6	6	7	7
文化的行事									別支ドリーム フェスティバル(6)					6	6	6	6	6	6
健康安全・ 体育的行事	身体計測(聴 力・視力含 む)(1) 心臓検診 【1年】(1)	内科検診 (0.5) 耳鼻科検診 (0.5) 眼科検診 (0.5)	整形外科検診 (0.5) 歯科検診 (0.5) 避難訓練(1)				身体測定(0.5)		避難訓練(1)		身体計測 (0.5)	避難訓練(1)		8.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5
遠足・集団 宿泊的行事		なかよし遠足 (3)	社会見学 【I(3~6 年)】(5)			交流及び共同学 習(1) 校外学習 【I(1~2年) II III(1~6 年)】(5)	交流及び共同学 習(1) お楽しみ遠足 【I II III(1~4 年)】(5) 【IV(1~6 年)】(3) 修学旅行 【I II III(5~ 6年)】(10) 交流及び共同 学習(1)					お別れ遠足 【I II III(1 ~6年)】 (3)	I 18 II 18 III 18 IV 8	I 18 II 18 III 18 IV 8	I 18 II 18 III 18 IV 8	I 18 II 18 III 18 IV 8	I 23 II 23 III 23 IV 8	I 23 II 23 III 23 IV 8	
勤務生産・ 奉仕的行事				清掃(1)									清掃(1) 【1~5年】	3	3	3	3	3	2
時間 合計	1年	3	4.5	2	2	0	I II III 7.5 IV 2.5	I II III 6 IV 4	7	2	1.5	I II III 4 IV 1	2	I 41.5 II 41.5 III 41.5 IV 31.5					
	2年	2	4.5	2	2	0	I II III 7.5 IV 2.5	I II III 6 IV 4	7	2	1.5	I II III 4 IV 1	2	I 40.5 II 40.5 III 40.5 IV 30.5					
	3年	2	4.5	I 7 II III IV 2	2	0	I 2.5 II III 7.5 IV 2.5	I II III 6 IV 4	7	2	1.5	I II III 4 IV 1	2	I 40.5 II 40.5 III 40.5 IV 30.5					
	4年	2	4.5	I 7 II III IV 2	2	0	I 2.5 II III 7.5 IV 2.5	I II III 6 IV 4	7	2	1.5	I II III 4 IV 1	2	I 40.5 II 40.5 III 40.5 IV 30.5					
	5年	2	4.5	I 7 II III IV 2	2	0	I 2.5 II III 7.5 IV 2.5	I II III 11 IV 4	7	2	1.5	I II III 4 IV 1	3	I 46.5 II 46.5 III 46.5 IV 31.5					
	6年	3	4.5	I 7 II III IV 2	2	0	I 2.5 II III 7.5 IV 2.5	I II III 11 IV 4	7	2	1.5	I II III 4 IV 1	1	I 45.5 II 45.5 III 45.5 IV 30.5					

9 自立活動

(1) 目標

教育活動全体及び時間の指導をとおして、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う。また、心身の調和的発達を培いながら、児童それぞれにとっての自立と社会参加を目指す。

(2) 指導方針

- ①児童の実態を的確に把握し、自立活動の6区分27項目から必要な指導項目を選定し、それらを相互に関連付け個別の指導計画を作成して、系統的な指導をできるようにする。その際個々の児童の人間として調和のとれた育成を目指すように努める。
- ②障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服し、自立し社会参加する資質を養うため、自立活動の時間はもとより、学校の教育活動全体を通じて適切に行う。特に、自立活動の時間における指導は、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動と密接な関連を保ち、個々の児童の障がいの状態や特性及び心身の発達段階等を的確に把握して、適切な指導計画の下に行うように配慮する。
- ③重複障がい児童のうち、障がいの状態により各教科に替えて、自立活動を主として指導を行う。

(3) 指導計画

- ①個別の指導計画を作成し、指導を行い、評価・改善をする。

ア個別の指導計画の作成における留意点

- ・実態把握は、長所や得意なことを含めて行う。収集した情報は、個人情報の保護に留意する。
- ・指導目標の達成に向けて、自立活動の6区分27項目から必要な指導項目を選定し、それらを相互に関連付けて、具体的な指導内容を設定する。

イ指導内容の設定における留意点

- ・児童が、主体的に取り組む内容にする。
- ・児童が、学習上又は生活上の困難を改善・克服の意欲を喚起する内容にする。
- ・児童の発達の進んでいる側面を更に伸ばす内容にする。
- ・児童が、活動しやすいように自ら環境を整えたり、必要に応じて周囲の人に支援を求めたりすることができるような内容にする。
- ・児童が、自己選択や自己決定をすることができるような内容にする。
- ・児童が、自立活動の学習の意味を将来の自立や社会参加に必要な資質・能力との関係において理解し、取り組める内容にする。

ウ評価における留意点

- ・児童の学習状況を学期末に適切に評価し、個別の指導計画や具体的な指導の改善に生かすように努める。

②指導時間数

「Ⅲ小学部 I 形態別授業時数」の頁参照。

③指導形態

- ・指導目標を達成する上で、個別指導又は集団を構成して指導するかは効果的な方を選択する。

(4) 指導上の配慮事項

- ①自立活動の指導は、全教師の協力の下に効果的に行われるようにする。
- ②児童の障がいの状態により、必要に応じて、専門の医師及びその他の専門家の指導・助言を求めるなどして適切な指導ができるようにする。
- ③児童の指導の継続性を確保するため、個別の指導計画を活用したり、教職員間で引継ぎを行ったりする。

10 交流及び共同学習

(1) 学校間での交流及び共同学習

①目的 ・地域の小学校との交流及び共同学習を通して、児童の経験を広め、社会性を養い、好ましい人間関係を育成する。

②年間指導計画

学年	人数	実施する月(予定)	1回あたりの実施時間	指導の形態名	具体的な内容	交流相手校名	学年等	引率 教員数
全	20名	9月	1時間	特別活動	・全体での出会いの会 ・グループに分かれて、自己紹介やゲームを楽しみ、他校の児童との交流を体験する。	別府市立 鶴見小学校	3年	なし (本校 実施)
全	20名	10月	1時間	特別活動	・両校とも、楽しかったことなどの感想を書いて出し合い手紙での交流をする。	別府市立 鶴見小学校	3年	なし (本校 実施)

(2) 居住地校での交流及び共同学習

①目的 ・居住地の友だちと知り合い触れあいながら、お互いの存在を認め合い、かかわりを深めることができるようにする。
・居住地の友だちと一緒に学習をすることで多数での授業を体験し、児童の経験を広め積極的な態度を育てる。

②年間指導計画

学年	人数	実施する月(予定)	1回あたりの実施時間	指導の形態名	具体的な内容	交流相手校名	学年等	引率 教員数
3年	単一障がい学級 1名	6月 10月	3時間程度	特別活動	・各教科・領域の授業へ参加し集団授業を体験する。 ・授業時間や休み時間を通して同学年の子どもたちと関わる。 ・状況に応じて、手紙等の間接交流を行う。	由布川市立 由布川小学校	3年	1名
3年	重複障がい学級 1名	6月 10月	3時間程度	特別活動	・各教科・領域の授業へ参加し集団授業を体験する。 ・授業時間や休み時間を通して同学年の子どもたちと関わる。 ・状況に応じて、手紙等の間接交流を行う。	別府市立 朝日小学校	3年	1名
5年	重複障がい学級 1名	6月 10月	3時間程度	特別活動	・各教科・領域の授業へ参加し集団授業を体験する。 ・授業時間や休み時間を通して同学年の子どもたちと関わる。 ・状況に応じて、手紙等の間接交流を行う。	由布川市立 東庄内小学校	5年	1名
6年	重複障がい学級 1名	6月 10月	3時間程度	特別活動	・各教科・領域の授業へ参加し集団授業を体験する。 ・授業時間や休み時間を通して同学年の子どもたちと関わる。 ・状況に応じて、手紙等の間接交流を行う。	別府市立 境川小学校	6年	1名
6年	単一障がい学級 1名	6月 10月	3時間程度	特別活動	・各教科・領域の授業へ参加し集団授業を体験する。 ・授業時間や休み時間を通して同学年の子どもたちと関わる。 ・状況に応じて、手紙等の間接交流を行う。	日出町立 藤原小学校	6年	1名

IV 中学部

1 指導の形態別授業時数

- (1) 単一障がい学級 肢体不自由 I 課程
 単一障がい学級 病弱 I 課程
 重複障がい学級 肢体不自由・病弱 I 課程

指導の形態		1年	2年	3年	備考
各教科	国語	140	140	105	○保健体育の時間を減じて、自立活動の時間に充てる。
	社会	105	105	140	
	数学	140	105	140	
	理科	105	140	140	
	音楽	45	35	35	
	美術	45	35	35	
	保健体育	70	70	70	
	技術・家庭	70	70	35	
	外国語	140	140	140	
特別の教科 道徳		35	35	35	
総合的な学習の時間		50	70	70	
特別活動	学級活動	35	35	35	
自立活動		35	35	35	
総授業時数		1015	1015	1015	
選択教科		—	—	—	

- (2) 重複障がい学級 II 課程

指導の形態		1年	2年	3年	備考
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	35	35	35	○日常生活の指導に充てる時間は、次のように計画する。 朝の会 5分×5日 帰りの会 5分×5日
	遊びの指導	-	-	-	
	生活単元学習	70	70	70	
	作業学習	35	35	35	
国語		105	105	105	
社会		70	70	105	
数学		105	105	105	
理科		70	105	105	
音楽		45	35	35	
美術		45	35	35	
保健体育		70	70	70	
職業・家庭		70	70	35	
外国語		105	105	105	
特別の教科 道徳		35	35	35	
特別活動	学級活動	35	35	35	
自立活動		70	35	35	
総合的な学習の時間		50	70	70	
総授業時数		1015	1015	1015	

(3) 重複障がい学級 III課程

指導の形態		1 年	2 年	3 年	備 考
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	105	105	105	日常生活の指導に充てる時間は、次のように計画する。 朝の健康観察 5分×5日 係の仕事 10分×5日 朝の会 10分×5日 帰りの会 5分×5日
	遊びの指導	—	—	—	
	生活単元学習	105	105	105	
	作業学習	35	35	35	
国語	105	105	105	社会、理科、職業・家庭、外国語については、各教科等を合わせた指導及び学校生活全般で扱い、指導、評価を行う。	
社会	0	0	0		
数学	105	105	105		
理科	0	0	0		
音楽	70	70	70		
美術	70	70	70		
保健体育	70	70	70		
職業・家庭	0	0	0		
外国語	0	0	0		
特別の教科道徳	35	35	35		
特別活動	学級活動	35	35		35
自立活動		210	210		210
総合的な学習の時間		70	70		70
総授業時数		1015	1015		1015

(4) 重複障がい学級 IV課程

指導の形態		1 年	2 年	3 年	備 考
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	210	210	210	日常生活の指導に充てる時間は、次のように計画する。 朝の健康観察 5分×5日 係の仕事 15分×5日 朝の会 10分×5日 排泄指導 15分×5日 歯磨き指導 10分×5日 帰りの会 5分×5日
	遊びの指導	—	—	—	
	生活単元学習	—	—	—	
	作業学習	—	—	—	
国語	0	0	0	国語、社会、数学、理科、保健体育、職業・家庭、外国語については、他の教科や領域、合わせた指導及び学校生活全般で扱い、指導、評価を行う。 特別の教科道徳の内容は、各教科等を合わせた指導の中で行うとともに、教育活動全体を通して行う。	
社会	0	0	0		
数学	0	0	0		
理科	0	0	0		
音楽	70	70	70		
美術	35	35	35		
保健体育	0	0	0		
職業・家庭	0	0	0		
外国語	0	0	0		
特別の教科道徳	0	0	0		
特別活動	学級活動	35	35		35
自立活動		595	595		595
総合的な学習の時間		70	70		70
総授業時数		1015	1015		1015

2 道徳科指導計画

	1 年			2 年			3 年		
	教材名	内容項目	配当時間	教材名	内容項目	配当時間	教材名	内容項目	配当時間
4 月	サッカーの漫画を描きたい	希望、勇気、克己A(4)	1	自分の弱さと戦え	よりよく生きるD(22)	1	風に立つライオン	よりよく生きるD(22)	1
	挫折から希望へ	よりよく生きるD(22)	1	おばあちゃんのくれた“おまじない”	勤労C(13)	1	銅メダルから得たもの	希望、勇気、克己A(4)	1
	人のフリみて	思いやり、感謝B(6)	1	挨拶は言葉のスキンシップ	礼儀B(7)	1	出迎え三步、見送り七歩	礼儀B(7)	1
5 月	「愛情貯金」をはじめませんか	礼儀B(7)	1	最後のパートナー	生命の尊さD(19)	1	昔と今を結ぶ糸	伝統と文化C(17)	1
	さかなのなみだ	公正、公平C(11)	1	五月の風-カーナー	自主、自律A(1)	1	卒業文集最後の二行	公正、公平C(11)	1
	近くにいた友	友情、信頼B(8)	1	五月の風-ミカー	友情、信頼B(8)	1	違うんだよ、健司	友情、信頼B(8)	1
6 月	トマトとメロン	向上心、個性A(3)	1	リスペクト アザース	公正、公平C(11)	1	命のトランジットビザ	国際理解、貢献C(18)	1
	ばあば	生命の尊さD(19)	1	名乗り出なかつた友	思いやり、感謝B(6)	1	エリカ-奇跡のいのち-	生命の尊さD(19)	1
	ふれあい直売所	遵法精神、公德心C(10)	1	戦争を取材する	真理の探究、創造A(5)	1	私も高校生	自主、自律A(1)	1
	あったほうがいい?	社会参画、公共の精神C(12)	1	海と空-檣野の人々	国際理解、貢献C(18)	1	あるレジ打ちの女性	勤労C(13)	1
7 月	疾走、自転車ライダー	節度、節制A(2)	1	美しい鳥取砂丘	遵法精神、公德心C(10)	1	No Charity, but a Chanel!	社会参画、公共の精神C(12)	1
	花火に込めた平和への願い	国際理解、貢献C(18)	1	和樹の夏祭り	郷土の伝統C(16)	1	新しい夏のはじまり	向上心、個性A(3)	1
9 月	部活の帰り	友情、信頼B(8)	1	ハイタッチがくれたもの	よりよい学校生活C(15)	1	「稲むらの火」余話	郷土の伝統C(16)	1
	私らしさって?	自主、自律A(1)	1	ヨシト	公正、公平C(11)	1	言葉の向こうに	相互理解、寛容B(9)	1
	むかで競走	よりよい学校生活C(15)	1	ネット将棋	自主、自律A(1)	1	命の大切さ	公正、公平C(11)	1
	震災を乗り越えて-復活した郷土芸能-	郷土の伝統C(16)	1	樹齢七千年の杉	感動、畏敬の念D(21)	1	ゴリラのまねをした彼女を好きになった	友情、信頼B(8)	1
10 月	使っても大丈夫?	遵法精神、公德心C(10)	1	「自分」ってなんだろう	向上心、個性A(3)	1	二通の手紙	遵法精神、公德心C(10)	1
	公平と不公平	公正、公平C(11)	1	小さな工場の大きな仕事	勤労C(13)	1	独りを慎む	節度、節制A(2)	1
	違いを乗り越えて	国際理解、貢献C(18)	1	体験ナースをとおして	生命の尊さD(19)	1	電車の中で	思いやり、感謝B(6)	1
	あふれる愛	生命の尊さD(19)	1	行動する建築家 坂 茂	社会参画、公共の精神C(12)	1	自分・相手・周りの人	社会参画、公共の精神C(12)	1
11 月	富士山から変えていく	社会参画、公共の精神C(12)	1	きよなら、ホストファミリー	伝統と文化C(17)	1	失った笑顔を取り戻す	勤労C(13)	1
	木の声を聞く	自然愛護D(20)	1	夜のくだもの屋	思いやり、感謝B(6)	1	「川端」のある暮らし	自然愛護D(20)	1
	バスと赤ちゃん	思いやり、感謝B(6)	1	初心	希望、勇気、克己A(4)	1	風景開眼	感動、畏敬の念D(21)	1
	家族と支え合うなかで	家族愛C(14)	1	ライバル	友情、信頼B(8)	1	臓器ドナー	生命の尊さD(19)	1
12 月	私は清掃のプロになる	勤労C(13)	1	オーストリアのマス川	遵法精神、公德心C(10)	1	iPS細胞で難病を治したい	真理の探究、創造A(5)	1
	奈良筆に生きる	伝統と文化C(17)	1	よみがえれ、えりもの森	自然愛護D(20)	1	父は能楽師	伝統と文化C(17)	1
1 月	ゆうへ-生きていてくれてありがとう-	生命の尊さD(19)	1	ダシヨ- ニシオカ	国際理解、貢献C(18)	1	本とペンで世界を変えよう	国際理解、貢献C(18)	1
	旗	友情、信頼B(8)	1	コトコの涙	相互理解、寛容B(9)	1	塩むすび	思いやり、感謝B(6)	1
	自分だけ「余り」になってしまう……	相互理解、寛容B(9)	1	門掃き	社会参画、公共の精神C(12)	1	町内会デビュー	自主、自律A(1)	1
2 月	オーロラ-光のカーテン-	感動、畏敬の念D(21)	1	避難所にて	節度、節制A(2)	1	一冊のノート	家族愛C(14)	1
	裏庭のできごと	自主、自律A(1)	1	命を見つめて-旗渡 龍さんの六百四十六日-	生命の尊さD(19)	1	サトシの一票	社会参画、公共の精神C(12)	1
	役に立つことができるかな	勤労C(13)	1	足袋の季節	よりよく生きるD(22)	1	ワンス・アボン・ア・タイム・イン・ジャパン	遵法精神、公德心C(10)	1
	緑のじゅうたん	真理の探究、創造A(5)	1	恋する涙	友情、信頼B(8)	1	世界を動かした美	よりよく生きるD(22)	1
3 月	「肝心」のバスガイド	郷土の伝統C(16)	1	包む	伝統と文化C(17)	1	お別れ会	よりよい学校生活C(15)	1
	いつわりのバイオリン	よりよく生きるD(22)	1	きいちゃん	家族愛C(14)	1	希望	生命の尊さD(19)	1
	時間合計		35	時間合計		35	時間合計		35

3 総合的な学習の時間

【I 課程】

(1) 総合的な学習の時間の名称 「共に学び共に生きる」

(2) 総合的な学習の時間の目標

- ・社会生活に対して視野を広げ、よりよく生活するための必要な知識や技能を身に付ける。
- ・探究的な学習の中に課題を見つけ、集めた情報を整理・分析して、学んだことをまとめて表現することができるようになる。
- ・探究的な学習において互いの良さを認め合い、協調しながら主体的に取り組むとともに、積極的に社会に参加しようとする態度を養う。

(3) 実施学年

学年及び生徒数、指導者数	単位数（時間数）	学習活動を行う方法
第1学年 生徒数1名指導者数1名 第2学年 生徒数0名指導者数0名 第3学年 生徒数4名指導者数3名	第1学年（50時間） 第2・3学年（70時間）	【授業形態】 学部・学年別・クラス・個別 【学校外施設の利用】 校外学習・職場体験など

※事前・事後学習は「総合的な学習の時間」に行い、当日は「特別活動」で行う

(4) 学習計画

月	題材名	学習内容	時数		
			1年	2年	3年
4	新入生をむかえよう	○活動を理解し、積極的に参加する。また、参加者のみんなで楽しむための工夫をする。	2	4	4
5	将来と職業に関する学習をしよう (5月～7月)	○時間いっぱい作業に取り組む。	4	6	6
	ドリームスポーツ杯のお知らせ	○ポスター作成と保護者あてのプログラムを作成する。	2	2	2
	防災について考えよう	○避難体験などを通して、災害時に取るべき行動や、準備しておくこと等を考え、防災について知識を深める。	1	1	1
6	将来について考えよう	○1年ライフキャリアについて 2年希望する職業について 3年進学に必要な力について	1	3	3
	【2・3年】校外学習(マナー学習)(事前・事後)	○公共の場所を利用する際のマナーやルールについて学習し、実際に体験する中で、知識を深める。		4	4

7	お楽しみ会の準備と振り返り	○みんなが楽しむことができるように考えたり、計画したりする。事後は振り返りを行いポスターにまとめる。	4	4	4
9	将来と職業に関する学習をしよう (9月～12月)	○時間いっぱい作業に取り組む。	4	6	6
	働くことについて考えよう	○興味のある職業について調べたり、将来について考えたりする。(1年) ○希望の職業について調べたり、将来について考えたりする。(2年) ○3年職場体験実習について調べたり、将来について考えたりする。(3年)	2	5	2
10	【1年】校外学習に行こう(事前)(事後)	○行き先を知り、見学先について調べ、めあてを立てたり、計画を立てたりして、見通しを持つ。 ○事後のまとめをし、発表する。	5		
	別支ドリームフェスティバルの準備をしよう	○保護者へのプレゼントを制作する。 ○自分の役割や活動を理解し積極的に参加する。また、参加者のみんなで楽しむための工夫をする。	8	8	8
11	【2・3年】職場見学、職場体験実習に行こう(事前)(事後)	○職場見学、職場体験実習に向けて、実習先や日程を知り、調べ学習をしたり、めあてを決めたりして、意欲を持つ。 ○事後のまとめをし、発表する。		6	6
12	防災について考えよう	○地震時の避難について、調べ学習を通して気を付けることを知り、避難訓練に生かす。	1	1	1
	お楽しみ会の準備と振り返り	○学部みんなが楽しむことができる活動を考えたり、計画したりする。事後は振り返りを行い、ポスターにまとめる。	3	3	3
1	将来と職業に関する学習をしよう (1月～3月)	○時間いっぱい作業に取り組む。	4	6	4
	防災について考えよう	○火砕流について調べ、避難時に気を付けることを考え、避難訓練に生かす。	1	1	1
	郷土について知ろう	○1年 別府の伝統文化や食文化などについて調べて、発表しあう。 ○2年 大分の伝統文化や食文化などについて調べて、発表しあう。 ○3年 大分の産業について調べて、発表しあう。	3	3	3
2	3年生を送る会の準備をしよう	○1・2年生は分担した役割を果たし、3年生へのメッセージを考える。 ○3年生として、学部の友達や先生に感謝を伝える。	3	3	3

3	【1・2年】将来について考えよう 【3年】卒業にむけて	○高等部の先輩や先生に話を聞き高等部の就職や進学への考え方を知る。 ○卒業に向けて、3年生として何をすべきかを考え、計画し、準備する。(卒業制作・式練習)	1	1	8
	1年間の振り返りをしよう	○これまでの学習について振り返り、自分の考えたことや感じたことをまとめ、発表する。	1	3	1

【Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ課程】

(1) 総合的な学習の時間の名称 「ふれあい学習」

(2) 総合的な学習の時間の目標

- ・社会生活に対して視野を広げ、よりよく生活するための必要な知識や技能を身に付ける。
- ・探究的な学習の中に課題を見つけ、集めた情報を整理・分析して、学んだことをまとめて表現することができるようになる。
- ・探究的な学習において互いの良さを認め合い、協調しながら主体的に取り組むとともに、積極的に社会に参加しようとする態度を養う。

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおりに育成することを旨とする。

- ①探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識や技能を身に付け、諸課題に対応した解決方法を見出し、探究的な学習のよさを理解するようになる。
- ②自分の身近な生活や社会の中から問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- ③探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを認め合い、積極的に集団や社会に参画しようとする態度を養う。

(3) 実施学年

学年及び生徒数、指導者数	単位数(時間数)	学習活動を行う方法
第1学年ⅡⅢⅣ課程生徒8名 指導者数8名 第2学年ⅡⅢⅣ課程生徒2名 指導者数2名 第3学年ⅡⅢⅣ課程生徒3名 指導者数3名	第1学年(50時間) 第2・3学年(70時間)	【授業形態】 学部・学年別・クラス・個別 【学校外施設の利用】 校外学習・職場体験など

※事前・事後学習は「総合的な学習の時間」に行い、当日は「特別活動」で行う

(4) 学習計画

月	題材名	学習内容	時数			
			1年 Ⅱ	1年 ⅢⅣ	2・3 年Ⅱ	2・3 年 ⅢⅣ
	ALTと学習しよう (4月～7月)	○ALTとの学習をとおして外国の言葉や歌と親しみ、体験を広げる。		4		4
4	新入生を迎えよう	○活動を理解し、積極的に参加する。また、参加者のみんなで楽しむための工夫をする。	2	2	2	2
5	ドリームスポーツ杯のお知らせ	○ポスター作成と保護者あてのプログラムを作成する。	2	4	8	4
6	防災について考えよう	○避難体験などを通して、災害時に取るべき行動や、準備しておくこと等を考え、防災について知識を深める。 ○避難体験などを通して、災害時に適切な行動をしたり、非常食を食べたりして、災害時に備える。	2	2	2	2
7	自分の将来について考えよう	○いろいろな仕事を調べたり、経験したりして自分の興味のある仕事を見つける。	6	6	8	6
	【2・3年Ⅱ課程】校外にいこう(事前事後)	○公共の場所を利用する際のマナーやルールについて学習し、実際に体験する中で、知識や経験を深める。			10	
	楽しみ会の準備と振り返り	○みんなが楽しむことができるように考えたり、計画したりする。事後は振り返りを行い、ポスターにまとめる。	4	4	8	4
	ALTと学習しよう (9月～12月)	○ALTとの学習をとおして外国の言葉や歌と親しみ、体験を広げる。		4		4
9	【1・2・3年ⅢⅣ課程】校外学習に行こう(事前事後)	○行き先を知り、見学先について調べ、めあてを立てたり計画を立てたりして、見通しをもつ。 ○事後のまとめをし、発表する。		9		9
10	【1年Ⅱ課程】校外にいこう(事前事後)	○公共の場所を利用する際のマナーやルールについて学習し、実際に体験する中で、知識や経験を深める。	9			
	別支ドリームフェスティバルの準備をしよう	○保護者へのプレゼントを制作する。 ○自分の役割や活動を理解し、積極的に参加する。	9	6	10	6

11	【1年】進路について考えよう	○希望の職業について調べたり、将来について考えたりする。	6	4		
	【2・3年】職場見学、職場体験実習に行こう(事前事後)	○施設見学、職場体験実習に向けて、実習先や日程を知り、調べ学習をしたり、めあてを決めたりして、意欲をもつ。			6	6
	散策しよう	○学校の周辺を散策、地域を知り、自然を感じる。		2		1
12	防災について考えよう	○地震時の避難について、調べ学習を通して気を付けることを知り、避難訓練に生かす。	1	1	2	1
	お楽しみ会の準備と振り返り	○事後のまとめをし、発表する。みんなが楽しむことができるように考えたり、計画したりする。事後は振り返りを行い、ポスターにまとめる。	4	4	6	4
	ALTと学習しよう(1月～3月)	○ALTとの学習をとおして外国の言葉や歌と親しみ、体験を広げる。		3		3
1	防災について考えよう	○火砕流について調べ、避難時に気を付けることを考え、避難訓練に生かす。	1	1	2	1
	商品を作って渡そう	○先生たちから注文を受け、商品を作成し、手渡しすることを通じて人と関わる。		6		5
2	頼まれた物を買ってこよう	○お店の利用を知り、頼まれた物を買ってきて渡す。		4		4
3	3年生を送る会の準備	○【1・2年】分担した役割を果たし、3年生へのメッセージを考える。 ○【3年】学部の友だちや先生に感謝を伝える。	4	4	6	4

4 学級活動

	1 年		2 年		3 年	
	題材名	配当時間	題材名	配当時間	題材名	配当時間
4 月	中学校生活について知ろう	1	2年生の役割を考えよう	1	最上級生の自覚と役割	1
	学級と個人目標・組織づくり	1	学級と個人目標・組織づくり	1	学級と個人目標・組織づくり	1
	学級目標を考えよう	1	学級目標を考えよう	1	学級目標を考えよう	1
5 月	自分のよさを知ろう(人権)	1	自分のよさを知ろう(人権)	1	自分のよさを知ろう(人権)	1
	学級菜園を作ろう	1	学級菜園を作ろう	1	学級菜園を作ろう	1
	仲間づくりについて(人権)	1	仲間づくりについて(人権)	1	仲間づくりについて(人権)	1
6 月	私たちの住む環境	1	私たちの住む環境	1	私たちの住む環境	1
	心身の発達と変化	1	自分の性格や個性・能力の理解	1	高等部の先輩から学ぶ	1
	交流及び共同学習にむけて	1	交流及び共同学習にむけて	1	交流及び共同学習にむけて	1
	学習のまとめ(期末考査)	1	学習のまとめ(期末考査)	1	学習のまとめ(期末考査)	1
7 月	平和について考えよう(平和)	1	平和について考えよう(平和)	1	平和について考えよう(平和)	1
	1学期の反省	1	1学期の反省	1	1学期の反省	1
	夏休みの過ごし方と計画	1	夏休みの過ごし方と計画	1	夏休みの過ごし方と計画	1
	望ましい生活習慣	1	生活習慣と食生活	1	将来の生活を考える	1
9 月	夏休みの反省と2学期の目標	1	夏休みの反省と2学期の目標	1	夏休みの反省と2学期の目標	1
	心の通い合う学級	1	学級生活を充実させよう	1	学習方法を改善しよう	1
	生徒会とわたしたち	1	生徒会活動と学級	1	悩みや不安の解消	1
10 月	学級菜園を作ろう	1	学級菜園を作ろう	1	学級菜園を作ろう	1
	別支ドリームフェスティバルの目標 コミュニケーションを豊かに	1 1	別支ドリームフェスティバルの目標 心に残る学校行事	1 1	別支ドリームフェスティバルの目標 思い出に残る行事にしよう	1 1
11 月	別支ドリームフェスティバルの振り返り	1	別支ドリームフェスティバルの振り返り	1	別支ドリームフェスティバルの振り返り	1
	差別のない社会にむけて(人権)	1	差別のない社会にむけて(人権)	1	差別のない社会にむけて(人権)	1
	交流及び共同学習にむけて	1	交流及び共同学習にむけて	1	交流及び共同学習にむけて	1
	学習のまとめ(期末考査)	1	学習のまとめ(期末考査)	1	学習のまとめ(期末考査)	1
12 月	2学期の反省	1	2学期の反省	1	2学期の反省	1
	冬休みの過ごし方と計画	1	冬休みの過ごし方と計画	1	冬休みの過ごし方と計画	1
	大掃除をしよう	1	大掃除をしよう	1	大掃除をしよう	1
1 月	冬休みの反省と3学期の目標	1	冬休みの反省と3学期の目標	1	冬休みの反省と3学期の目標	1
	なぜ学ぶのか	1	何のために学ぶのか	1	受験への心構えと準備	1
2 月	世界の平和について(平和)	1	世界の平和について(平和)	1	世界の平和について(平和)	1
	学習のまとめ(期末考査)	1	学習のまとめ(期末考査)	1	学習のまとめ(期末考査)	1
	学級と私たちの成長	1	家庭学習の改善と充実	1	面接の練習をしよう	1
3 月	1年間を振り返って	1	1年間を振り返って	1	3年間を振り返って	2
	春休みに向けて	1	春休みに向けて	1	受験に向けて	1
	大掃除をしよう	1	大掃除をしよう	1		
	時間合計	35	時間合計	35	時間合計	35

5 生徒会活動

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間合計
活動内容	新入生を むかえる 会 (2) 集会行事 (2)	集会行事 (2)	集会行事 (1)	お楽しみ 会 (2) 集会行事 (2)		生徒会 役員選出 (1) 集会行事 (2)	集会行事 (2)	集会行事 (1)	お楽しみ 会 (2) 集会行事 (2)	集会行事 (2)	給食感謝 の会 (給 食時) バス感謝 の会 (朝 会時) 3年生を 送る会 (2) 集会行事 (2)	生徒会 役員選出 (1) 集会行事 (1)	
配当時間	4	2	1	4	0	3	2	1	4	2	4	2	29

6 学校行事

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間合計		
													1年	2年	3年
儀式的行事	始業式(1) 【2・3年】 入学式(1) 【1・3年】			終業式(1)		始業式(1)			終業式(1)	始業式(1)		卒業式(1) 【2、3年】 修了式(1) 【1・2年】	7	7	7
文化的行事								別支ドリーム フェスティバル (6)					6	6	6
健康安全・ 体育的行事	身体測定 (1) 心臓検診 (1) 【1年】	ドリーム スポーツ祭(4) 内科検診(1) 耳鼻科検診 (1) 眼科検診(1)	整形外科検診 (1) 歯科検診(1) 避難訓練(1)			身体測定 (1)		避難訓練 (1)		身体測定 (1)	避難訓練 (1)		16	15	15
旅行・集団 宿泊の行事			3年校外学習 (I II) (5) 交流及び共同学 習(2)			1・2・3年 校外学習 (III)(5) 1・3年校 外学習 (IV)(5)	1年校外学 習 (I II) (5)	交流及び共同 学習(2)					I II 9		I II 9
													III IV 9	III 9	III IV 9
勤労生産・ 奉仕の行事								職場体験 III(2年8) I II III(3年12) IV(3年4)					I II 0 III IV 0	III 8	I II III 12 IV 4
時間 合計	1年	3	7	I II 5 III IV 5	1	I II 2 III IV 7	I II 5 III IV 0	I II 9 III IV 9	1	2	1	2	I II 38 III IV 38		
	2年	2	7	III 5	1	III 7	III 0	III 17	1	2	1	2		III 45	
	3年	3	7	I II 10 III IV 5	1	I II 2 III IV 7	I II 0 III IV 0	I II III 21 IV 13	1	2	1	1			I II III 49 IV 41

7 自立活動

(1) 目標

教育活動全体及び時間の指導をとおして、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う。また、心身の調和的発達を培いながら、生徒それぞれにとっての自立と社会参加を目指す。

(2) 指導方針

- ①生徒の実態を的確に把握し、自立活動の6区分27項目から必要な指導項目を選定し、それらを相互に関連付け個別の指導計画を作成して、系統的な指導をできるようにする。その際個々の生徒の人間として調和のとれた育成を目指すように努める。
- ②障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服し、自立し社会参加する資質を養うため、自立活動の時間はもとより、学校の教育活動全体を通じて適切に行う。特に、自立活動の時間における指導は、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動と密接な関連を保ち、個々の生徒の障がいの状態や特性及び心身の発達段階等を的確に把握して、適切な指導計画の下に行うように配慮する。
- ③重複障がい生徒のうち、障がいの状態により各教科に替えて、自立活動を主として指導を行う。

(3) 指導計画

- ①個別の指導計画を作成し、指導を行い、評価・改善をする。

ア個別の指導計画の作成における留意点

- ・実態把握は、長所や得意なことを含めて行う。収集した情報は、個人情報の保護に留意する。
- ・指導目標の達成に向けて、自立活動の6区分27項目から必要な指導項目を選定し、それらを相互に関連付けて、具体的な指導内容を設定する。

イ指導内容の設定における留意点

- ・生徒が、主体的に取り組む内容にする。
- ・生徒が、学習上又は生活上の困難を改善・克服の意欲を喚起する内容にする。
- ・生徒の発達の進んでいる側面を更に伸ばす内容にする。
- ・生徒が、活動しやすいように自ら環境を整えたり、必要に応じて周囲の人に支援を求めたりすることができるような内容にする。
- ・生徒が、自己選択や自己決定をすることができるような内容にする。
- ・生徒が、自立活動の学習の意味を将来の自立や社会参加に必要な資質・能力との関係において理解し、取り組める内容にする。

ウ評価における留意点

- ・生徒の学習状況を学期末に適切に評価し、個別の指導計画や具体的な指導の改善に生かすように努める。

②指導時間数

「IV中学部 I 形態別授業時数」の頁参照。

③指導形態

- ・指導目標を達成する上で、個別指導又は集団を構成して指導するかは効果的な方を選択する。

(4) 指導上の配慮事項

- ①自立活動の指導は、全教師の協力の下に効果的に行われるようにする。
- ②生徒の障がいの状態により、必要に応じて、専門の医師及びその他の専門家の指導・助言を求めるなどして適切な指導ができるようにする。
- ③生徒の指導の継続性を確保するため、個別の指導計画を活用したり、教職員間で引継ぎを行ったりする。

8 産業現場等における実習

(1) 目的

- ・一般事業所や福祉就労施設等での仕事や生活の体験等を通して、将来の進路や社会生活に関心をもつ。

【各学年のねらい】

- 1年生：中学部生活のリズムに慣れるとともに、校内作業等の学習を通して「働くこと」への基礎を学ぶ。
- 2年生：事業所や施設の見学を通して、いろいろな仕事があることを知り、将来の進路や社会生活について関心をもつ。
- 3年生：事業所や施設での実習を通して、「働くことの楽しさ」を味わい、将来の進路や社会生活に関心をもつ。
「働くために必要なこと」を学び、これからの学校生活にいかそうとする気持ちをもつ。

(2) 実施計画

① I・II・III課程

学年	指導の形態名	履修時間 (週)	内 容	実習期日	実習時間数	実習場所又は事業所	実習生徒数	引率教員数	備 考
2	総合的な学習 の時間 特別活動	6 1 2	職場見学	10月～11月	8時間～	県内一般企業 県内社会福祉施設	2	2	
3	総合的な学習 の時間 特別活動	6 8	職場体験	10月～11月	12時間～	県内一般企業 県内社会福祉施設	6	5	

② IV課程

学年	指導の形態名	履修時間 (週)	内 容	実習期日	実習時間数	実習場所又は事業所	実習生徒数	引率教員数	備 考
2	総合的な学習 の時間 特別活動	6 4	施設見学	10月～11月	4時間～	県内社会福祉施設	0	0	
3	総合的な学習 の時間 特別活動	6 4	職場体験または施設見学	10月～11月	4時間～	県内社会福祉施設	1	1	

※生徒の進路希望、特性等を考慮の上、計画し実施する。また、実態に応じて、上記期間外にも適宜、産業現場等における実習を実施する。

※事前・事後の学習は、「総合的な学習の時間（事前4・事後2）」、職場体験実習は「特別活動」で取り扱う。

9 交流及び共同学習

(1) 学校間交流

- ① 目的 ・ 地域の中学校との交流及び共同学習や体験活動を通して、生徒の経験を広め、社会性を養い、好ましい人間関係を育成する。
- ② 年間指導計画

学年	人数	実施する月(予定)	1回あたりの実施時間	指導の形態名	具体的な内容	交流相手校名	学年等	引率 教員数
全	単一障がい 学級5名 重複障がい 学級13名	6月	2時間	学級活動 学校行事	・ 自己紹介やゲームを通して他校の生徒との人間関係を育成する。	別府支援学校 鶴見校	全	16名
全	単一障がい 学級5名 重複障がい 学級13名	11月	2時間	学級活動 学校行事	・ 自己紹介やゲームを通して賑やかな雰囲気を楽しんだり、会話したりすることで交流及び共同学習を行う。	別府市立 青山中学校	未定	なし(本校実施)

(2) 居住地校交流

- ① 目的 ・ 居住地の友だちと知り合い触れあいながら、お互いの存在を認め合い、かかわりを深めることができるようにする。
・ 居住地の友だちと一緒に学習し、体験することで、生徒の経験を広め、積極的な態度を育てる。

② 年間指導計画

学年	人数	実施する月(予定)	1回あたりの実施時間	指導の形態名	具体的な内容	交流相手校名	学年等	引率 教員数
1年 (Ⅱ課程)	1名	10月	4時間	特別活動	・ 授業や行事に参加し、生徒の話を聞いたり、活動を体験したりする。 ・ 休憩時間を通して、同学年の生徒と会話して交流する。	由布市立 湯布院中学校	1年	1名

V 高等部

1 教育課程

(1) 令和6年度入学生

学科名 普通科 I 課程

教科		科目	標準 単位	1年	2年	3年	計	備考
各学科に共通する教科	国語	現代の国語	2			2	6	・○印より、 2単位（1 科目）を選択 する
		言語文化	2	2	2			
	地理歴史	地理総合	2		2		4	
		歴史総合	2			2		
	公民	公共	2	2			2	
	数学	数学Ⅰ	3	2	2		6	
		数学A	2			2		
	理科	科学と人間生活	2	2	2		6	
		生物基礎	2			2		
	保健体育	体育	7～8	2	2	3	9	
		保健	2	1	1			
	芸術	音楽Ⅰ	2	2			2～6	
		音楽Ⅱ	2			②		
		美術Ⅰ	2		2			
		美術Ⅱ	2			②		
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	2	2	2	6		
家庭	家庭基礎	2	2			2		
情報	情報Ⅰ	2	2			2		
各学科に共通する科目小計				45～49				
主として 開設する 専ら	産業社会と人間	産業社会と人間	8		4	4	8	
	商業	情報処理	2～4			②	0～4	
	家庭	ファッション造形基礎	2～6			②		
専門科目小計				0	4～6	4～6	8～12	
計				57				
総合的な探究の時間				2	2	2	6	
自立活動				8	8	8	24	
単位数総計				29	29	29	87	
ホームルーム活動				1	1	1	3	

(2) 令和5年度入学生

学科名 普通科 I 課程

教科		科目	標準 単位	1年	2年	3年	計	備考
各 学 科 に 共 通 す る 教 科	国語	現代の国語	2			2	6	・芸術のⅡ は、2年次ま でⅠを履修 した科目のみ 選択可能 ・○印より、 2単位（1科 目）を選択す る
		言語文化	2	2	2			
	地理歴史	地理総合	2		2		4	
		歴史総合	2			2		
	公民	公共	2	2			2	
	数学	数学Ⅰ	3	2	2		6	
		数学A	2			2		
	理科	科学と人間生活	2	2	2		6	
		生物基礎	2			2		
	保健体育	体育	7~8	2	2	3	9	
		保健	2	1	1			
	芸術	音楽Ⅰ	2	2	②		2~6	
		音楽Ⅱ	2			②		
		美術Ⅰ	2	2	②			
美術Ⅱ		2			②			
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	2	2	2	6		
家庭	家庭基礎	2	2			2		
情報	情報Ⅰ	2	2			2		
各学科に共通する科目小計				45~49				
主 門 と し て 開 設 さ れ て い る 専 門 科 目	産業社会と人間	産業社会と人間	8		4	4	8	
	商業	情報処理	2~4		②	②	0~4	
	家庭	ファッション造形基礎	2~6			②		
専門科目小計				0	4~6	4~6	8~12	
計				57				
総合的な探究の時間				2	2	2	6	
自立活動				8	8	8	24	
単位数総計				29	29	29	87	
ホームルーム活動				1	1	1	3	

(3) 令和4年度入学生

学科名 普通科 I 課程

教科		科目	標準 単位	1年	2年	3年	計	備考
各 学 科 に 共 通 す る 教 科	国語	現代の国語	2			2	6	・芸術のⅡ は、2年次ま でⅠを履修 した科目のみ 選択可能 ・○印より、 2単位（1科 目）を選択す る
		言語文化	2	2	2			
	地理歴史	地理総合	2		2		4	
		歴史総合	2			2		
	公民	公共	2	2			2	
	数学	数学Ⅰ	3	2	2		6	
		数学A	2			2		
	理科	科学と人間生活	2	2		2	6	
		生物基礎	2		2			
	保健体育	体育	7~8	2	2	3	9	
		保健	2	1	1			
	芸術	音楽Ⅰ	2	2	②		2~6	
		音楽Ⅱ	2			②		
		美術Ⅰ	2	2	②			
美術Ⅱ		2			②			
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	2	2	2	6		
家庭	家庭基礎	2	2			2		
情報	情報Ⅰ	2	2			2		
各学科に共通する科目小計				45~49				
主 門 と し て 開 設 さ れ て い る 専 門 科 目	産業社会と人間	産業社会と人間	8		4	4	8	
	商業	情報処理	2~4		②	②	0~4	
	家庭	ファッション造形基礎	2~6			②		
専門科目小計				0	4~6	4~6	8~12	
計				57				
総合的な探究の時間				2	2	2	6	
自立活動				8	8	8	24	
単位数総計				29	29	29	87	
ホームルーム活動				1	1	1	3	

(4) 令和6年度

学科名 普通科 重複障がい学級Ⅱ課程

指導の形態		1年	2年	3年	計	備考
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	70	70	70	210	・「日常生活の指導」の指導に充てる時間は、次のように計画する。 朝の健康観察 5分×5日 係の仕事 5分×5日 朝の会 5分×5日 帰りの会 5分×5日 ・社会、理科、職業については、各教科等を合わせた指導及び学校生活全般で扱い、指導、評価を行う。 ・特別の教科道徳の内容は、各教科等を合わせた指導の中で扱うとともに、教育活動全体を通して行う。
	生活単元学習	70	70	70	210	
	作業学習	210	210	210	630	
国 語		70	70	70	210	
社 会		0	0	0	0	
数 学		70	70	70	210	
理 科		0	0	0	0	
音 楽		70	70	70	210	
美 術		70	70	70	210	
保 健 体 育		70	70	70	210	
職 業		0	0	0	0	
家 庭		70	70	70	210	
特別の教科 道徳		0	0	0	0	
特別活動	ホームルーム活動	35	35	35	105	
自 立 活 動		210	210	210	630	
総合的な探究の時間		70	70	70	210	
総 授 業 時 数		1085	1085	1085	3255	

(5) 令和6年度

学科名 普通科 重複障がい学級Ⅲ課程

指導の形態		1年	2年	3年	計	備考
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	70	70	70	210	・「日常生活の指導」の指導に充てる時間は、次のように計画する。
	生活単元学習	70	70	70	210	
	作業学習	70	70	70	210	
国語		70	70	70	210	朝の健康観察 5分×5日 係の仕事 5分×5日 朝の会 5分×5日 帰りの会 5分×5日
社会		0	0	0	0	・社会、理科、職業、家庭については、各教科等を合わせた指導及び学校生活全般で扱い、指導、評価を行う。
数学		70	70	70	210	
理科		0	0	0	0	
音楽		70	70	70	210	・特別の教科道徳の内容は、各教科等を合わせた指導の中で扱うとともに、教育活動全体を通して行う。
美術		70	70	70	210	
保健体育		70	70	70	210	
職業		0	0	0	0	・特別の教科道徳の内容は、各教科等を合わせた指導の中で扱うとともに、教育活動全体を通して行う。
家庭		0	0	0	0	
特別の教科 道徳		0	0	0	0	
特別活動	ホームルーム活動	35	35	35	105	
自立活動		420	420	420	1260	
総合的な探究の時間		70	70	70	210	
総 授 業 時 数		1085	1085	1085	3255	

(7) 令和6年度

学科名 普通科 重複障がい学級IV課程

指導の形態		1年	2年	3年	計	備考
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	245	245	245	735	<ul style="list-style-type: none"> ・「日常生活の指導」の指導に充てる時間は、次のように計画する。 朝の健康観察 10分×5日 係の仕事 10分×5日 朝の会 15分×5日 排泄指導 15分×5日 歯磨き指導 10分×5日 帰りの会 10分×5日
	生活単元学習	-	-	-	-	
	作業学習	-	-	-	-	
	国語	0	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・国語、社会、数学、理科、保健体育、職業、家庭については、各教科等を合わせた指導及び学校生活全般で扱い、指導、評価を行う。 ・特別の教科道徳の内容は、各教科等を合わせた指導の中で扱うとともに、教育活動全体を通して行う。
	社会	0	0	0	0	
	数学	0	0	0	0	
	理科	0	0	0	0	
	音楽	105	105	105	315	
	美術	70	70	70	210	
	保健体育	0	0	0	0	
	職業	0	0	0	0	
	家庭	0	0	0	0	
	特別の教科 道徳	0	0	0	0	
特別活動	ホームルーム活動	35	35	35	105	
	自立活動	560	560	560	1680	
	総合的な探究の時間	70	70	70	210	
	総授業時数	1085	1085	1085	3255	

2 総合的な探究の時間

(1) 総合的な探究の時間の名称 「共に学び、共にくらす」

(2) 総合的な探究の時間の目標

【I課程】

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行いながら、自己の在り方生き方を見つめ、自己に関わる課題を解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ①社会生活、職業生活に対して視野を広げ、よりよく生活するために必要な知識や技能を身に付ける。
- ②自己を見つめなおし、自己と社会生活、職業生活の中から問いを見出し、自分で課題を立て、解決を図っていくことができるようにする。
- ③自己及び他者の理解を勧め、協調して取り組むとともに、積極的に社会生活、職業生活に参加する態度を養う。

【II・III・IV課程】

- ①社会生活、職業生活に対して視野や経験を広げ、よりよく生活するために必要な知識や技能、態度を身に付ける。
- ②探究的な学習の中に課題を見つけ、よく考えて課題を解決し、学んだことを表現することができるようになる。
- ③自己及び他者の理解を勧め、協調して取り組むとともに、積極的に社会生活、職業生活に参加する態度を養う。

(3) 実施学年

【I課程】

学年及び生徒数、指導者数	単位数 (時間数)	学習活動を行う方法
1年 生徒 2名 指導者 2名 2年 生徒 4名 指導者 3名 3年 生徒 3名 指導者 2名	2単位 (70時間)	【授業形態】 学部・学年・クラス・課程 【学校外の施設利用】 基本は学校内で実施するが、学習の目標を踏まえ、必要に応じて設定する

【II・III・IV課程】

学年及び生徒数、指導者数	年間 授業 時数	学習活動を行う方法
1年 II課程 生徒 0名 指導者 0名 III課程 生徒 1名 指導者 1名 IV課程 生徒 2名 指導者 2名 2年 II課程 生徒 1名 指導者 1名 III課程 生徒 2名 指導者 2名 IV課程 生徒 0名 指導者 0名 3年 II課程 生徒 0名 指導者 0名 III課程 生徒 2名 指導者 2名 IV課程 生徒 3名 指導者 3名	70時間	【授業形態】 学部・学年・クラス・課程 【学校外の施設利用】 基本は学校内で実施するが、学習の目標を踏まえ、必要に応じて設定する

(4) 学習計画

①学習内容

<p>課題探究活動</p>	<p>【Ⅱ・Ⅲ課程合同】 【Ⅳ課程合同】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心のある活動に進んで取り組む。 ・活動する中で課題を見つけ、調べ、発表する。 ・好きな活動への意欲をその他の学習活動へつなげる。 <p>【Ⅰ課程合同】</p> <p>〈パソコン探究〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータを扱う中で、インターネット情報から正しいものを得るための方法を知る。 <p>〈スポーツ探究〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツや筋力トレーニングの実践を通して、文献あるいは動画情報から効果的な練習方法を知る。 <p>〈生活自立探究〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の職業生活を見据え、経済活動や環境問題などに興味を持つとともに必要な知識を知る。 <p>〈作業探究〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業活動を通して、作業に継続して取り組む力を身に付けるとともに部品取りや進捗把握などの製品管理に関する知識を知る。
<p>進路に関する学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現場実習に向けて事前学習や激励会等を通して、実習への意欲や実習での目標をもつ。 ・現場実習後の学習や報告会等を通して、現在の生活や学習についての課題を知る。 ・障がい福祉サービスの利用や余暇活動プログラムの体験を通して卒業後の生活を見据えた活動をする。(Ⅳ課程)
<p>体験活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然に関わる活動、ものづくりや生産活動、文化や芸術に関わる活動等について調べる。 ・活動する意味を理解したり今後の行動を選択したりして自分の考えを表現する。
<p>学部交流活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・同年齢あるいは異年齢の集団との活動に参加する。 ・共に活動する喜びや何かを成し遂げた達成感を感じる。 ・交流する相手との活動を通して、他者とのかかわる力や主体的に活動する力を身に付ける。

②年間指導計画

月	学習活動	学習内容	時数		
			1年	2年	3年
4	オリエンテーション	○1学期に実施する活動について知る。	1	1	1
	学部交流活動	○交流活動に向けて新しい仲間と親睦を深めるための活動を考えたり道具等を準備したりする。	2	2	2
5	現場実習3年激励会・報告会	○激励会を通して現場実習への意欲を高める。 ○報告会を通して今後の課題を知る。	2	2	2
	校外学習(2年) ※事前事後学習	○目的地について調べ、まとめ、発表する。 ○調査の結果を取りまとめ、発表する。	-	2	-

6	現場実習 2年激励会・報告会	○激励会を通して現場実習への意欲を高める。 ○報告会を通して今後の課題を知る。	2	2	2
	性に関する学習	○生命尊重、人間尊重、男女平等の精神に基づき、性に関して正しく理解し、適切に行動を取れるようにする。	2	2	2
7	情報モラル学習	○ネットトラブルの未然防止など、通信情報機器の正しい扱い方を知る。	6	6	6
学期を通して	課題探究活動 (グループ別・課程別)	○活動内容についてまとめたり発表したりする。(2・3年) ○活動を体験し興味・関心のある活動を見つける。(1年) ○活動の目的や内容を理解し、課題を見つけてまとめる。 ○1学期の学習内容を振り返り、成果や今後の課題を知る。 ○探究グループごとに発表会を実施する。 ○他校の高等部生徒の交流活動を行う。(ⅡⅢⅣ課程) ○障がい福祉サービスの利用や余暇活動プログラムを体験する。(Ⅳ課程)	10	10	10
	9	オリエンテーション	○2・3学期に実施する活動について知る。	1	1
10	現場実習 3年激励会・報告会	○激励会を通して現場実習への意欲を高める。 ○報告会を通して今後の課題を知る。	2	2	2
	主権者教育	○主権者として地域の課題解決を社会の構成員の一人として主体的に担うことができる力を身に付ける。	2	2	2
11	進路講話	○社会人として必要な知識技能を知る。 ○進路に関する講話を通して、自分の進路を考える。	2	2	2
	校外学習(1年) ※事前事後学習	○目的地について調べ、まとめ、発表する。 ○調査の結果を取りまとめ、発表する。	2	-	-
11	校外学習(3年) ※事前事後学習	○目的地について調べ、まとめ、発表する。 ○調査の結果を取りまとめ、発表する。	-	-	2

12	進路講話	○社会人として必要な知識技能を知る。 ○進路に関する講話を通して、自分の進路を考える。	2	2	2
	現場実習1年激励会・報告会	○激励会を通して現場実習への意欲を高める。 ○報告会を通して今後の課題を知る。	2	2	2
学期を通して	課題探究活動 (グループ別・課程別)	○活動の中で見つけた課題について調べる。 ○2学期の学習内容を振り返り、成果や今後の課題を知る。 ○探究グループごとに発表会を実施する。 ○障がい福祉サービスの利用や余暇活動プログラムを体験する。(IV課程)	18	18	18
1	現場実習2年激励会・報告会	○激励会を通して現場実習への意欲を高める。 ○報告会を通して今後の課題を知る。	2	2	2
	進路講話	○社会人として必要な知識技能を知る。 ○進路に関する講話を通して、自分の進路を考える。	2	2	2
2	消費者教育(3年)	○消費者トラブルに巻き込まれないように正しい知識と対応法を学ぶ。	-	-	2
3	学部交流活動(1・2年)	○卒業に向けて取り組む先輩を温かく送り出すための活動を考えたり道具等を準備したりする。	2	2	-
学期を通して	課題探究活動 (グループ別・課程別)	○1年間取り組んだ成果や今後の課題をまとめる。 ○課題について調べた結果をまとめる。 ○探究グループごとに発表会を実施する。 ○障がい福祉サービスの利用や余暇活動プログラムを体験する。(IV課程)	8	8	8

3 ホームルーム活動

(1) ホームルーム活動の目標

- ①生徒一人一人が自己理解を深め、体験活動を通して、豊かな人間性を育み、自立と社会参加を目指す態度を育成する。
- ②望ましい集団活動を通して、心身の調和的発達と個性の伸長を図る。
- ③社会の一員としての自覚を深め、将来の進路を選択決定する能力を育成する。

(2) 学年別目標

1 年	2 年	3 年
<ul style="list-style-type: none"> ①高校生としての自覚をもたせ、学習や生活面での自律的自主的態度を育成する。 ②学級や学校における自治活動を理解し、共同生活を向上させていくための意欲と経験を豊かにする。 ③障がいによる学習上または生活上の困難の改善を図るとともに、自己の進路に対する関心と意欲を高めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①高等部中堅学年としての責任を自覚させ、諸活動における自主性・積極性の広がりを目指す。 ②個人、社会、人生などの諸問題についての考えを深め、豊かな人間性を育む。 ③障がいによる学習上または生活上の困難の改善を図るとともに、自己の進路に対する関心と意欲を高めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①高等部最高学年としての自覚をもたせ、学級、学校、寄宿舎における生活全般についての指導性を育成する。 ②社会人、職業人になるための知識と心構えを育成する。 ③障がいによる学習上または生活上の困難を主体的に改善するための心構えを養うとともに、自己の進路を決定できるようにする。

(3) ホームルーム活動の年間指導計画及び配当時間

	1 年		活動 内容 記号	2 年		活動 内容 記号	3 年		活動 内容 記号
		時間			時間			時間	
4月	学期目標設定 生徒会役員選挙 専門部学級選出 学年生徒間の親睦	1 1 1 1	(1)イ (1)ウ (1)ウ (1)ウ	学期目標設定 生徒会役員選挙 専門部学級選出	1 1 1	(1)イ (1)ウ (1)ウ	学期目標設定 生徒会役員選挙 専門部学級選出	1 1 1	(1)イ (1)ウ (1)ウ
5月	人権・平和学習 専門部会 生徒総会議案審議 生徒総会	1 1 1 1	(2)アイ (1)ウ (1)イ (2)ア (1)ウ (2)ア	人権・平和学習 専門部会 生徒総会議案審議 生徒総会	1 1 1 1	(2)アイ (1)ウ (1)イ (2)ア (1)ウ (2)ア	人権・平和学習 専門部会 生徒総会議案審議 生徒総会	1 1 1 1	(2)アイ (1)ウ (1)イ (2)ア (1)ウ (2)ア
6月	環境学習 防災学習 専門部会 クラス独自の取組	1 1 1 1	(3)ウ (2)オ (1)ウ (1)アイ (3)イ	環境学習 防災学習 専門部会 施設の種類・内容について	1 1 1 1	(3)ウ (2)オ (1)ウ (3)アエ	環境学習 防災学習 専門部会 クラス独自の取組	1 1 1 1	(3)ウ (2)オ (1)ウ (1)アイ (3)イ
7月	学業と進路について クラス独自の取組 学期目標設定 (振り返り)	1 1 1	(2)エ (3)アウエ (1)アイ (3)イ (1)イ	学業と進路について 学期目標設定 (振り返り)	1 1	(2)エ (3)アウエ (1)イ	学業と進路について クラス独自の取組 学期目標設定 (振り返り)	1 1 1	(2)エ (3)アウエ (1)アイ (3)イ (1)イ
8月									

9月	学期目標設定 生徒会役員選挙 専門部学級役員 選出 専門部会	1 1 1 1	(1)イ (1)ウ (1)ウ (1)ウ	学期目標設定 生徒会役員選挙 専門部学級役員 選出 専門部会 修学旅行の計画 と準備	1 1 1 1 1	(1)イ (1)ウ (1)ウ (1)ウ (1)ウ (1)アイ	学期目標設定 生徒会役員選挙 専門部学級役員 選出 専門部会	1 1 1 1 1	(1)イ (1)ウ (1)ウ (1)ウ (1)ウ
10月	生徒総会議案審 議 生徒総会 ドリームフェスティバル学 年発表検討	1 1 1	(1)イ (2)ア (1)ウ (2)ア (1)イ	修学旅行の計画 と準備 生徒総会議案審 議 生徒総会 ドリームフェスティバル学 年発表検討	1 1 1 1	(1)アイ (1)イ (2)ア (1)ウ (2)ア (1)イ	生徒総会議案審 議 生徒総会 ドリームフェスティバル学 年発表検討	1 1 2	(1)イ (2)ア (1)ウ (2)ア (1)イ
11月	防災学習 学業と進路につ いて	1 1	(2)オ (2)エ (3)アウエ	防災学習 学業と進路につ いて	1 1	(2)オ (2)エ (3)アウエ	防災学習 学業と進路につ いて	1 1	(2)オ (2)エ (3)アウエ
12月	ドリームスポーツ杯企 画 人権・平和学習 学期目標設定 (振り返り)	1 1 1	(1)イ (2)アイ (1)イ (1)イ	ドリームスポーツ杯企 画 人権・平和学習 学期目標設定 (振り返り)	1 1 1	(1)イ (2)アイ (1)イ (1)イ	ドリームスポーツ杯企 画 福祉制度につ いて 人権・平和学習 学期目標設定 (振り返り)	1 1 1 1	(1)イ (2)アイ (3)アエ (1)イ (1)イ
1月	学期目標設定 専門部会	1 1	(1)イ (1)ウ	学期目標設定 専門部会	1 1	(1)イ (1)ウ	学期目標設定 専門部会	1 1	(1)イ (1)ウ
2月	人権・平和学習 防災学習 クラス独自の取 組	1 1 1	(2)アイ (2)オ (1)アイ (3)イ	人権・平和学習 防災学習 クラス独自の取 組	1 1 1	(2)アイ (2)オ (1)アイ (3)イ	人権・平和学習 防災学習 学業と進路につ いて クラス独自の取 組 学期目標設定 (振り返り)	1 1 1 1 1	(2)アイ (2)オ (2)エ (3)アウエ (1)アイ (3)イ (1)イ
3月	学業と進路につ いて クラス独自の取 組 学期目標設定 (振り返り)	1 1 1	(2)エ (3)アウエ (1)アイ (3)イ (1)イ	学業と進路につ いて クラス独自の取 組 学期目標設定 (振り返り)	1 1 1	(2)エ (3)アウエ (1)アイ (3)イ (1)イ			
合計		35			35			35	

4 生徒会活動

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間合計
生徒会活動年間計画	新入生を迎える会 (4) 生徒会専門部員等の選出 (1) 生徒会役員選挙 (1)	集会活動 (1) 専門部会 (1) 議案書審議 (1) 生徒総会 (1)	専門部会 (1)	集会活動 (1)		生徒会役員選挙 (1) 専門部会 (1)	集会活動 (1) 生徒会専門部員等の選出 (1) ドリームフェスタの話し合い (1) 議案書審議 (1) 生徒総会 (1)	ドリームスポーツ杯の話し合い (1)	集会活動 (1)	専門部会 (1)	集会活動 (1) 給食感謝の会 (0) (委員) バス感謝の会 (0) (委員) 3年生を送る会 (3)		
時月別数計	6	4	1	1	0	2	5	1	1	1	4	0	26

5 学校行事

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間合計			
													1年	2年	3年	
儀式的行事	始業式【2・3年】(1) 入学式【1・3年】(1)			終業式(1)		始業式(1)			終業式(1)	始業式(1)		卒業式【2・3年】(1) 終業式【1・2年】(1)	6	7	7	
文化的行事								別支ト ^レ ームフェスティバル(6)					6	6	6	
健康安全・体育的行事	身体測定(1) 心臓検診【1年】(1) 胸部X線【1年】(1)	内科検診(1) 耳鼻科検診(1) 眼科検診(1)	整形外科検診(1) 歯科検診(1)	球技大会(4) 避難訓練(1)		身体測定(1)		避難訓練(1)	ト ^レ ームスポーツ杯(4)	身体測定(1)	避難訓練(1)		21	19	19	
旅行・集団宿泊的行事			校外学習【1年】(5) 校外学習【2年】(5)	交流及び共同学習【3年】(2)			修学旅行【2年】(18)		校外学習【3年】(5)				5	23	7	
勤労生産・奉仕的行事	環境整備(1)			環境整備(1)		環境整備(1)			環境整備(1)	環境整備【3年】(1)	環境整備【1・2年】(1)		5	5	5	
時間合計	1年	5	3	7	7	0	3	0	7	6	2	2	1	43		
	2年	3	3	7	7	0	3	18	7	6	2	2	2		60	
	3年	4	3	2	9	0	3	0	7	11	3	1	1			44

6 自立活動

(1) 目標

教育活動全体及び時間の指導をとおして、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う。また、心身の調和的発達を培いながら、生徒それぞれにとっての自立と社会参加を目指す。

(2) 指導方針

- ①生徒の実態を的確に把握し、自立活動の6区分27項目から必要な指導項目を選定し、それらを相互に関連付け個別の指導計画を作成して、系統的な指導をできるようにする。その際個々の生徒の人間として調和のとれた育成を目指すように努める。
- ②障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服し、自立し社会参加する資質を養うため、自立活動の時間はもとより、学校の教育活動全体を通じて適切に行う。特に、自立活動の時間における指導は、各教科、道徳科、総合的な探究の時間及び特別活動と密接な関連を保ち、個々の生徒の障がいの状態や特性及び心身の発達段階等を的確に把握して、適切な指導計画の下に行うように配慮する。
- ③重複障がい生徒のうち、障がいの状態により各教科に替えて、自立活動を主として指導を行う。

(3) 指導計画

- ①個別の指導計画を作成し、指導を行い、評価・改善をする。

ア個別の指導計画の作成における留意点

- ・実態把握は、長所や得意なことを含めて行う。収集した情報は、個人情報の保護に留意する。
- ・指導目標の達成に向けて、自立活動の6区分27項目から必要な指導項目を選定し、それらを相互に関連付けて、具体的な指導内容を設定する。

イ指導内容の設定における留意点

- ・生徒が、主体的に取り組む内容にする。
- ・生徒が、学習上又は生活上の困難を改善・克服の意欲を喚起する内容にする。
- ・生徒の発達の進んでいる側面を更に伸ばす内容にする。
- ・生徒が、活動しやすいように自ら環境を整えたり、必要に応じて周囲の人に支援を求めたりすることができるような内容にする。
- ・生徒が、自己選択や自己決定をすることができるような内容にする。
- ・生徒が、自立活動の学習の意味を将来の自立や社会参加に必要な資質・能力との関係において理解し、取り組める内容にする。

ウ評価における留意点

- ・生徒の学習状況を学期末に適切に評価し、個別の指導計画や具体的な指導の改善に生かすように努める。

②指導時間数

「V高等部 1形態別授業時数」の頁参照。

③指導形態

- ・指導目標を達成する上で、個別指導又は集団を構成して指導するかは効果的な方を選択する。

(4) 指導上の配慮事項

- ①自立活動の指導は、全教師の協力の下に効果的に行われるようにする。
- ②生徒の障がいの状態により、必要に応じて、専門の医師及びその他の専門家の指導・助言を求めるなどして適切な指導ができるようにする。
- ③生徒の指導の継続性を確保するため、個別の指導計画を活用したり、教職員間で引継ぎを行ったりする。

7 産業現場等における実習

(1) I 課程

学科名	学年	教科名	科目名	単履 位数修	内 容	実習期日	実 習 時間数	実習場所 又は事業所	実 習 生徒数	引 率 教員数	備 考
普通科	1	総合的な 探究の時間		2	検品・組立作業 作業訓練、軽作業等	9月	30	県内一般企業 県内福祉施設等	2	2	生徒の実態に応じて、上記 期間外にも必要に応じて産 業現場等における実習を実 施することがある。
普通科	2	産業社会と 人間	産業社会と 人間	4	検品・組立作業 作業訓練、軽作業等	6月・1月	120	県内一般企業 県内福祉施設等	4	3	生徒の実態に応じて、上記 期間外にも必要に応じて産 業現場等における実習を実 施することがある。
普通科	3	産業社会と 人間	産業社会と 人間	4	検品・組立作業 作業訓練、軽作業等	6月・9月	120	県内一般企業 県内福祉施設等	3	2	生徒の実態に応じて、上記 期間外にも必要に応じて産 業現場等における実習を実 施することがある。

(2) II III IV 課程

学科名	学年	指導の 形態名		履 修 週 時 間	内 容	実習期日	実 習 時間数	実習場所 又は事業所	実 習 生徒数	引 率 教員数	備 考
普通科	1	作業学習 (II III 課程)	総合的な 探究の時間 (IV 課程)	1 週	検品・組立作業 軽作業・余暇活動等	9月	30	県内一般企業 県内福祉施設等	3	3	生徒の実態に応じて、上記 期間外にも必要に応じて産 業現場等における実習を実 施することがある。
普通科	2	作業学習 (II III 課程)	総合的な 探究の時間 (IV 課程)	2 週 × 2 回	検品・組立作業 軽作業・余暇活動等	6月・1月	120	県内一般企業 県内福祉施設等	3	3	生徒の実態に応じて、上記 期間外にも必要に応じて産 業現場等における実習を実 施することがある。
普通科	3	作業学習 (II III 課程)	総合的な 探究の時間 (IV 課程)	2 週 × 2 回	検品・組立作業 軽作業・余暇活動等	6月・9月	120	県内一般企業 県内福祉施設等	5	5	生徒の実態に応じて、上記 期間外にも必要に応じて産 業現場等における実習を実 施することがある。

8 交流及び共同学習

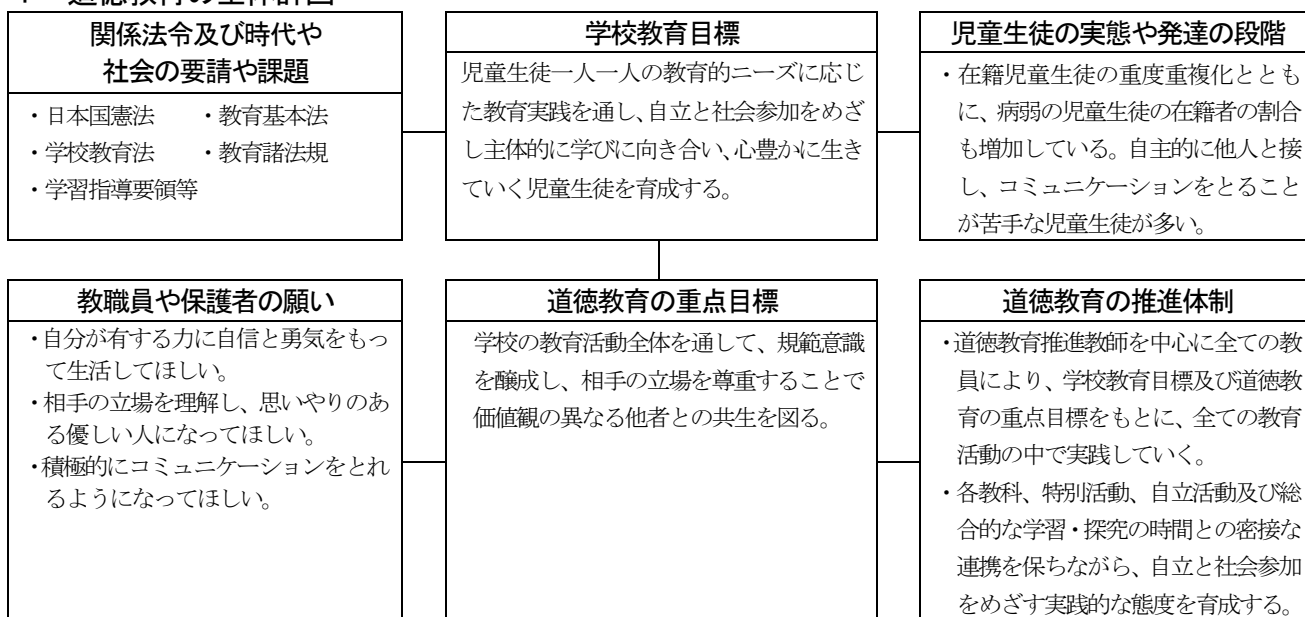
(1) 学校間交流

- ① 目的 近隣の高等学校または他校の高等部生徒との交流及び共同学習を通して、経験を広めるとともに好ましい人間関係を育成し、社会性を養う。
- ② 年間指導計画

学年	人数	実施する月(予定)	1回あたりの実施時間	指導の形態名	具体的な内容	交流相手校名	学年等	引率 教員数
3年	8名	7月	2時間	特別活動 (学校行事)	レクリエーション活動やグループごとの共同学習を通して相互理解を深める	高等学校 または 鶴見校	同学年 または 同じ学部	8名(相手校実施) または なし(本校実施)

VI 教育計画

1 道徳教育の全体計画



学部重点目標	
小学部	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も尊重する態度を培う。 【相互理解、寛容】 ・生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることを養う。 【生命の尊さ】
中学部	<ul style="list-style-type: none"> ・友情の尊さを理解して、互いに励ましあい、高めあうとともに、異性についても理解しながら人間関係を深めていこうとする態度を養う。 【友情、信頼】 ・生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重する態度を養う。 【生命の尊さ】
高等部	<ul style="list-style-type: none"> ・社会や進路先でのルールやマナーを守り、自主的に考え判断し、責任をもって行動する態度を養う。 【遵法精神、公德心】 【自主、自律、自由と責任】 ・自分の考えや立場を主体的に相手に伝えるとともに、他者の考えや立場を理解し尊重する態度を養う。 【相互理解・寛容】

	道徳科の時間における指導の方針	各教科等における道徳教育の指導方針
小学部	誰に対しても思いやりの心を持ち、友だちと互いに信頼しあいながら、人間関係を形成しようとする力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを人に伝えたり、人の話に耳を傾けたりする態度や、最後まで課題に取り組もうとする姿勢を育てる。 ・身近な自然に親しみ、友だちと共感しあうことで、自然や人を大切にする優しさや思いやりの心を養う。
中学部	望ましい生活習慣を身に付け、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> ・体験的、問題解決的な学習を重視し、自分の生き方との関わりを考えながら学習を進めていく態度や、協力して課題を解決する態度を育成する。 ・あらゆる生命を大切にするとともに、平和を願う人間尊重の気持ちを養う。
高等部		<ul style="list-style-type: none"> ・真理と平和を愛し、互いを尊重し敬愛する心を育む。 ・自己の在り方・生き方を考え、個性を伸ばし、充実した生き方を追及する態度を養う。

特色ある教育活動や豊かな体験活動における指導との関連
<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな心を育む学級活動 児童会・生徒会活動 各種行事や専門部会の実践や活動を通して、学校生活の向上のために積極的に取り組む。 ・ホームルーム活動や学校行事の充実 学校行事 児童生徒の自主的な参加を通して、学校生活における充実感を感じられるようにする。

学校の環境の充実、生活全般における指導方針	家庭、地域、他校との連携
<ul style="list-style-type: none"> ・全ての児童生徒が生き生きと主体的に活動できるように、個別の教育支援計画、個別の指導計画をもとに全教職員で共通理解を図りながら指導を行う。 ・学校の教育活動全体を通して、個性の伸長を図り自己肯定感を高めるように指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の「豊かな心」を育てるために、校外学習や社会見学で自然・社会・文化に触れたり、感動を覚えたりする学習を行う。 ・居住地校交流や他校種との学校間交流に主体性をもって参加し、積極的に他者との関わりを持つことで社会参加の意義や他者貢献への意欲を高めるようにする。

2 キャリア教育の全体計画

学校教育目標		関係法規			
<p>児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育実践を通し、自立と社会参加をめざし主体的に学びに向き合い心豊かに生きていく児童生徒を育成する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・学習指導要領 ・障害者総合支援法 ・障害者差別解消法 等 			
キャリア教育の目的		児童生徒・保護者の願い			
<p>教育活動全体を通して、発達の段階やライフステージに応じた課題を解決したり、役割を果たしたりすることで、社会参加や自立および心豊かに生きる力を育成する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・場に応じた身だしなみやあいさつができる。 ・人とうまく付き合うことができる。 ・卒業後に自立し、生きる喜びや生きがいを見つける。 ・自分らしく豊かな生活を送ることができる。 			
キャリア教育基本方針		各学部の指導方針			
<p>社会参加や自己実現に向け、児童生徒の能力や特性、本人の願いを的確に把握し、発達の段階やライフステージに応じた進路指導を行う。実践的・体験的な活動を充実し、他者や社会とのかかわりの中で自立のための基盤となる能力や態度を養う。</p>		<p>一人一人の将来を見据えた適切な進路選択及び決定ができるよう、発達の段階に応じた勤労観・職業観を育成する。</p>			
小学部	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習などを通して、働く人々の様子や仕事内容を知る。 ・中学部、高等部で展開される進路に関する活動にも触れさせ、将来について考える場面の創出を図る。 ・校内での連携を図るための「支援構成表」、中学部への円滑な引き継ぎを図るため、卒業時に「個別の移行支援資料」を作成する。 	中学部	<ul style="list-style-type: none"> ・産業現場等における実習などを通して、進路に関する意欲の喚起に努める。 ・高等部で展開される進路に関する活動にも触れさせ、自らの将来像について考える機会を増やす。 ・本人及び保護者の希望や本人の能力・特性を考慮したうえで、産業現場等における実習等を状況に応じて実施する。 ・校内での連携を図るための「支援構成表」、高等部への円滑な引き継ぎを図るため、卒業時に「個別の移行支援資料」を作成する。 		
高等部	<ul style="list-style-type: none"> ・進路希望調査や生徒、保護者との面談を行い、生徒一人一人のニーズに応じた進路決定に努める。 ・進路連絡会等を開催して職員間の共通理解を図る。 ・公共職業安定所、障害者職業センター、福祉施設等の関係機関との連携を図りながら情報の収集及び提供に努め、進路についての啓発を図る。 ・進路講話、施設説明会、現場実習激励会等を通して、働くことの意義や社会生活に必要な技能・態度を育成する。 ・産業現場等における実習を1学年1回、2・3学年各2回実施するなど就業体験の機会を積極的に設ける。 ・校内での連携を図るための「支援構成表」を作成し、「個別の移行支援計画」を踏まえて、卒業後の進路先への円滑な移行を図る。 				
キャリア教育推進を支えるもの					
職員研修	保護者との連携	地域との連携	関係機関との連携	校内組織	啓発活動
<ul style="list-style-type: none"> ・教科研修会 ・各種研修会 ・進路学習会 ・情報交換会 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会 ・三者・四者・五者面談 ・進路相談 ・進路学習会 ・進路ケース会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習や社会見学等を利用した進路学習 ・公共職業安定所や障害者就業センター、障がい者就業・生活支援センターとの連携 ・福祉施設・事業所等関係機関を招いての学校見学会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業現場等における実習 ・公共職業安定所、障がい者就業・生活支援センター等における進路相談 ・職場開拓(企業・施設訪問) ・学校訪問(大学・短大・専門学校) ・就労部会への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導委員会 ・学部会 ・各種会議や委員会における職員間の共通理解 ・学部・学年・分掌間の連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページによる活動の紹介 ・進路だよりの刊行 ・特別支援学校ワーキングフェアへの企画・運営 ・学校案内による進路情報の提供

3 人権・平和教育の全体計画

<p>関係法規等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○世界人権宣言 ○日本国憲法 ○教育基本法 ○学校教育法 ○人権教育啓発推進法 ○人権教育・啓発に関する基本計画 ○人権教育の指導方法の在り方について「第三次とりまとめ」 ○部落差別解消法 ○障害者差別解消法 	<p>学校教育目標</p> <p>児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育実践を通し、自立と社会参加をめざし主体的に学びに向き合い、心豊かに生きていく児童生徒を育成する。</p> <p>人権・平和教育全体目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日常の学校生活や交流及び共同学習を通して、互いを認め合い友だちと仲良くすることの大切さに気づかせ、豊かな人間関係を育てる。 2 人権学習や平和学習を通して、自分や他人の命の大切さに気づかせ、差別や偏見に対し正しい判断に基づいて行動できる態度を育てる。 	<p>人権課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○同和問題（部落差別・学習環境） ○女性（固定的役割分担意識） ○子ども（安心できる環境づくり） ○高齢者（交流の場の充実） ○障がい者（理解促進・適切な支援・共生に対する理解促進） ○外国人（正しい理解と共生） ○医療（偏見や差別の解消） ○性的少数者の人権問題（LGBTQ+） ○様々な人権問題（拉致問題・SNSトラブルの防止 等）
--	--	---

<p>人権・平和教育基本方針</p> <p>学校教育活動全体を通して、一人一人の発達の段階や特性、障がいの状態に応じて、互いの立場を認め合い差別や偏見に対し正しい判断に基づいて行動できる態度を育成する。</p>
--

各学部の目標	
小学部	<ul style="list-style-type: none"> ○日常の学校生活や交流及び共同学習を通して、友だちと仲良くし、一人一人の違いを認め合う気持ちを育てる。 ○人権学習、平和学習や日常の学習を通して、命の大切さがわかり、日常生活の中で自他の命を尊重する態度を育てる。
中学部	<ul style="list-style-type: none"> ○日常の学校生活や交流及び共同学習を通して、友だちと協力し、お互いに認め合い助け合う心を育てる。 ○人権学習、平和学習や日常の授業を通して、あらゆる人権問題を自らの課題として解決しようとする態度を育てる。
高等部	<ul style="list-style-type: none"> ○日常の学校生活や交流及び共同学習を通して、自分の役割を果たしながら他者と協力し、みんなで支え合う仲間づくりをする生徒を育てる。 ○人権学習、平和学習や日常の授業を通して、あらゆる人権問題を自らの課題としてとらえ、主体的に解決していこうとする態度を育てる。

家庭・地域・関係機関との連携					
職員研修	保護者との連携	地域との連携	関係機関との連携	校内組織	啓発活動
<ul style="list-style-type: none"> ○全国人権同和教育研究大会 ○九州地区人権・同和教育夏季講座 ○ヒューライツフォーラム ○校内人権教育研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ○別府市人権教育学級 	<ul style="list-style-type: none"> ○居住地校交流（小・中希望者） ○学校間交流 鶴見小学校 青山中学校 鶴見校 近隣の高等学校 	<ul style="list-style-type: none"> ○大分県人権教育・部落差別解消推進課 ○別府市共生社会実現・部落差別解消推進課 ○大分県人権・部落差別解消教育研究協議会 ○別府市人権教育・部落差別解消推進研究会 ○別府地区高等学校人権教育・部落差別解消研究会 	<ul style="list-style-type: none"> ○人権教育推進委員会 ○研修部人権・平和教育係 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校ホームページ ○ふれあい作品展 ○学校行事のお知らせ活動（ポスター配布）

4 食に関する指導の全体計画①

<p>【児童生徒の実態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい状態に合わせた、さまざまな食形態での提供や適切な摂食指導が必要である。 ・肥満傾向の児童生徒の割合が高い。 ・朝食を毎日食べている児童生徒の割合が低い。 ・よくかんで食べている児童生徒の割合が低い。 ・偏食のある児童生徒の割合が高い。 	<p>学校教育目標</p> <p>児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育実践を通し、自立と社会参加をめざし主体的に学びに向き合い、心豊かに生きていく児童生徒を育成する。</p>	<p>【第4次食育推進基本計画】</p> <p>【第4期大分県食育推進計画】</p> <p>【教育委員会指導指針】</p> <p>【摂食指導の手引き 実践編】</p>
---	---	---

<p>食育の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事の重要生 ・心身の健康 ・食品を解釈する能力 ・感謝の心 ・社会性 ・食文化 	<p>食に関する指導の目標 (知識・技能)</p> <p>食事の重要性やバランスのよい食事の取り方、適切な運動の必要性について理解し、生涯にわたる健康を考えた食生活に必要な知識や技能を身につける。 (思考力・判断力・表現力) 栄養や食事の取り方について正しい知識・情報に基づき、自ら判断でき、健康な生活や望ましい食習慣を実現するためには何が必要かを考え、適切に行動できる。 (学びに向かう力・人間性) 自分の食生活を見つめ直し、主体的によりよい食習慣を形成しようとする態度を身につける。</p>
--	--

<p>入学前</p> <p>幼稚園・保育所 幼保連携型 認定こども園</p> <p>小学校 中学校</p> <p>事業所等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べられる量の食事を完食することを通じ、達成感を得ながら次の食事に対する意欲を高める。 ・簡潔な言葉で食物のもつ役割を伝え、健康について興味をもっていききっかけをつくる。 	<p>各学部の食に関する指導の目標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>小学部</th> <th>中学部</th> <th>高等部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・食物に興味をもち、食事を楽しむ。 ・いろいろな食べ物を食べて、健康に過ごす。 ・食物を育てたり、調理したりする経験を通して、食べ物や調理に関するこの知識を広げる。 ・食事のきまりやマナーを知り、豊かな食生活の基礎を身につける。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・食事と健康は深いつながりがあることを学習し、少しでもいろいろな食べ物を食べることができる。 ・食事のきまりやマナーを知り、その場ふさわしい行動ができる。 ・食物の栽培をしたり、調理したりすることで、食物を大切にすることを身につける。 ・集団の中で自分の役割を知り、準備、活動、片付けを友だちと協力して行うことができる。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちと協力して準備や片付けをし、一緒に食事をするを通じて、楽しく食事をするためのマナーを身につける。 ・食事が健康に及ぼす影響を理解し、安全性と栄養バランスを意識して、適切に食事を選択することができる。 ・食物を育てたり、調理したりする経験を通じて、「命をいただく」ということや、食事ができるまでに多くの人が関わっていることを知り、感謝して食事することができる。 ・地域の地理的条件や歴史等の違いにより、食事の内容や仕方が異なることを知る。 </td> </tr> <tr> <td colspan="3"> <p>寄宿舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事場面や間食時の歓談機会を通じて、人が集まって楽しく食事をおこなうことの良さを理解し、進んでそのような中に自ら置こうとする態度を養う。 ・季節の行事にそった献立に触れ、食文化を理解しようとする。 </td> </tr> </tbody> </table>			小学部	中学部	高等部	<ul style="list-style-type: none"> ・食物に興味をもち、食事を楽しむ。 ・いろいろな食べ物を食べて、健康に過ごす。 ・食物を育てたり、調理したりする経験を通して、食べ物や調理に関するこの知識を広げる。 ・食事のきまりやマナーを知り、豊かな食生活の基礎を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事と健康は深いつながりがあることを学習し、少しでもいろいろな食べ物を食べることができる。 ・食事のきまりやマナーを知り、その場ふさわしい行動ができる。 ・食物の栽培をしたり、調理したりすることで、食物を大切にすることを身につける。 ・集団の中で自分の役割を知り、準備、活動、片付けを友だちと協力して行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと協力して準備や片付けをし、一緒に食事をするを通じて、楽しく食事をするためのマナーを身につける。 ・食事が健康に及ぼす影響を理解し、安全性と栄養バランスを意識して、適切に食事を選択することができる。 ・食物を育てたり、調理したりする経験を通じて、「命をいただく」ということや、食事ができるまでに多くの人が関わっていることを知り、感謝して食事することができる。 ・地域の地理的条件や歴史等の違いにより、食事の内容や仕方が異なることを知る。 	<p>寄宿舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事場面や間食時の歓談機会を通じて、人が集まって楽しく食事をおこなうことの良さを理解し、進んでそのような中に自ら置こうとする態度を養う。 ・季節の行事にそった献立に触れ、食文化を理解しようとする。 			<p>進学</p> <p>就職</p> <p>企業 事業所</p> <p>自宅等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命の延伸につながるような、望ましい食習慣が確立される ・食品の安全性について知識をもち、実践できる ・いろいろな食物を食す経験を通じて、地域に根付く食文化を理解・受容し、食する機会を得ようとする
	小学部	中学部	高等部										
<ul style="list-style-type: none"> ・食物に興味をもち、食事を楽しむ。 ・いろいろな食べ物を食べて、健康に過ごす。 ・食物を育てたり、調理したりする経験を通して、食べ物や調理に関するこの知識を広げる。 ・食事のきまりやマナーを知り、豊かな食生活の基礎を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事と健康は深いつながりがあることを学習し、少しでもいろいろな食べ物を食べることができる。 ・食事のきまりやマナーを知り、その場ふさわしい行動ができる。 ・食物の栽培をしたり、調理したりすることで、食物を大切にすることを身につける。 ・集団の中で自分の役割を知り、準備、活動、片付けを友だちと協力して行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと協力して準備や片付けをし、一緒に食事をするを通じて、楽しく食事をするためのマナーを身につける。 ・食事が健康に及ぼす影響を理解し、安全性と栄養バランスを意識して、適切に食事を選択することができる。 ・食物を育てたり、調理したりする経験を通じて、「命をいただく」ということや、食事ができるまでに多くの人が関わっていることを知り、感謝して食事することができる。 ・地域の地理的条件や歴史等の違いにより、食事の内容や仕方が異なることを知る。 											
<p>寄宿舎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事場面や間食時の歓談機会を通じて、人が集まって楽しく食事をおこなうことの良さを理解し、進んでそのような中に自ら置こうとする態度を養う。 ・季節の行事にそった献立に触れ、食文化を理解しようとする。 													

食育推進組織（保健部・学校保健委員会・給食に関する検討会）
校長、統括事務長、教頭、保健主任、養護教諭、看護師、保健部職員、栄養教諭、舎務主任、学校医、学校薬剤師、他関係職員

食に関する指導
教科等における食に関する指導：関係する教科等において食に関する指導の視点を位置付けて指導
各教科等を合わせた指導、総合的な学習（探究）の時間、特別活動、自立活動
給食の時間における食に関する指導：食に関する指導＝献立を通して学習、教科等で学習したことを確認
給食指導＝準備から片付けまでの一連の指導の中で習得
個別相談指導：個別栄養相談（肥満、やせ、食物アレルギー、偏食、疾病）
個別指導計画、個別的教育支援計画
個別対応食の実施（食物アレルギー対応食、形態食、こだわり食）

地場産物の活用
県産食材をつかった献立を取り入れて、地場産物に関する興味関心が高まるような指導を充実する。（献立表への記事掲載、給食時に献立に関する説明の実施など）

寄宿舎との連携
・寄宿舎の毎日の食事を通し、生活の一部である食事について理解できるような献立の実施。
・行事や季節のものを取り入れた献立を実施し、食への興味・関心や食文化への理解を促す。

家庭・地域・事業所との連携
献立表、食育だより、学校給食試食会、学校保健委員会、学校ホームページへの記事掲載。
摂食指導の専門家による巡回指導、研修の実施。

食育推進の評価
活動指標：食に関する指導や、学校給食の管理、連携・調整ができたか。
成果指標：児童生徒の実態に変容があったか。

食に関する指導の全体計画②

学校行事等		入学式	ドリームスポーツ杯			校外学習
推進体制	進行管理	分掌会議、学部会、アレルギー検討委員会				
	計画策定	計画策定				
小学部	小学部 教科等	4月	5月	6月	7月	
	生活単元学習	(通年)植物を育てよう(花、夏野菜、さつまいもなど)				
	社会	自然条件と人々の暮らし【5年】 米作りのさかんな地域水産業のさかんな地域【5年】 国づくりへの歩み【6年】 大陸に学んだ国づくり【6年】 室町文化と力をつける人々【6年】				
	理科	植物の育ち方(1)(2)(3)【3年】 季節と生物(2)(3)【4年】 植物の発芽と成長【5年】 植物の成長と日光の関わり・植物どうしの関わり【6年】				
	生活	めざせ野さい作り名人				
	家庭	クッキングははじめの一歩 できることを増やしてクッキング				
	体育	けんこうな1日の生活【3年】 生活習慣病の予防①【6年】				
	他教科					
	道徳科	いただきます【3年】 海を耕す人たち【5年】				
	総合的な学習の時間	別府の食べ物について調べよう				
自立活動	(通年)【健康の保持】生活リズムや生活習慣の形成、健康状態の維持・改善 【環境の把握】保有する感覚の活用 【身体の動き】姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用、日常生活に必要な基本動作					
中学部 教科等	4月	5月	6月	7月		
中学部	生活単元学習	野菜の栽培				
	社会	世界各地の人々の生活と環境、世界各地で生まれる文明、世界の食文化とその変化、稲作による生活の変化、大航海時代の幕開け、東アジアの貿易と南蛮人、日本の気候の特色、各地を結ぶ陸の道・海の道、日本の農業とその変化、都市から広がる大衆文化、大きく変化した私たちの生活、私たちの生活と文化 グローバル化世界との結びつき				
	理科	植物のなかま分け 花のつくりとはたらき、水や栄養分を運ぶしくみ、栄養分を作るしくみ、物質の成り立ち、生命を維持する働き(呼吸・血液の循環・排出の仕組み) 生物の成長とふえ方、遺伝の規則性と遺伝子				
	外国語	日本限定アイスクリームを提案しよう				
	技術家庭	春のくらし、ジャガイモの収穫 食生活と栄養、献立作りと食品の選択 幼児のおやつ				
	保健体育	体の発育・発達 水の利用と確保 食生活と健康 心や身体の成長について学ぼう				
	道徳科	トマトとメロン				
	総合的な学習の時間	校外学習の事前、事後学習、食文化、非常食				
	自立活動	(通年)【健康の保持】生活習慣や生活リズムの保持、健康状態の維持・改善 【環境の把握】保有する感覚の活用 【身体の動き】姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用				

校外学習	修学旅行 校外学習	別支ドリームフェ スティバル 修学旅行			卒業生を送る会 (お別れ会)	卒業式
分掌会議、学部会				学校保健委員会、分掌会議、学部会		
			評価実施	評価結果の分析	計画案策定	
8~9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(通年)食べ物はどこからくるのか調べよう クッキングははじめの一歩						
これからの食糧生産【5年】 戦争と人々の暮らし【6年】 平和で豊かな暮らしを目指して【6年】				日本とつながりの深い国々【6年】		
植物の育ち方(4)【3年】 季節と生物(4)【4年】 植物の実や種子のでき方【5年】						
めざせ野さい作り名人				めざせ野さい作り名人		
食べて元気に こんだてを工夫して						
よりよい発育のために【4年】 生活習慣病の予防②【6年】				地域の保健活動【6年】		
See the world(世界の衣食住を知ろう)【外国語】				What would you like?(ランチメニューを考えよう)【外国語】		
命のおにぎり【6年】				おばあちゃんのおせち【3年】 かつおぶし【4年】		
別府の食べ物を見学して作ってみよう						
(通年)【健康の保持】生活リズムや生活習慣の形成、健康状態の維持・改善 【環境の把握】保有する感覚の活用 【身体の動き】姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用、日常生活に必要な基本動作						
8~9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収穫し、調理する						
世界の諸地域(アジア)、律令国家での暮らし、世界の諸地域(ヨーロッパ、アフリカ、南北アメリカ)日本の諸地域(九州、南西諸島、中国、四国、近畿、中部)私たちの暮らしと経済 これからの経済と社会 消費社会と市場経済				世界の諸地域(オセアニア)世界の様々な地域の調査 日本の諸地域(関東、東北、北海道)、地域に迫って異なる食文化		
消化と呼吸				自然界のつり合い、自然が人間に及ぼす影響		
School life in the USA、サンドイッチに何をいれましょうか				Tea from China		
秋のくらしサツマイモの収穫、調理と食文化、生物育成						
生活習慣病とその予防、健康な生活と病気の予防						
夜のくだもの屋				塩むすび		
校外学習の事前、事後学習						
(通年)【健康の保持】生活習慣や生活リズムの保持、健康状態の維持・改善 【環境の把握】保有する感覚の活用 【身体の動き】姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用						

高等部 教科等		4月	5月	6月	7月
教科・道徳 総合的な探究の時間	生活単元学習	買い物学習 栄養と調理			
	地理歴史	近代国家の形成と国際関係の推移 自然環境と歴史、日本列島の中の世界の歴史、ユーラシアの諸文明、結び付く世界と近世の日本			
	公民	環境と私たちの生活、資源・エネルギー問題、青年期と自己の形成 現代の民主政治と政治参加の意義			
	理科	衣料と食品、生物と光、微生物とその利用、熱の性質とその利用 物質の構成、物質の構成粒子、粒子の結合 生物の特徴、遺伝子とその働き			
	外国語	食生活・食習慣の違い(ALT)			
	家庭	人の一生と食事、栄養と食品、食品の選び方、調理実習 家族・家庭と社会のかかわり、調理実習			
	保健体育	現代社会と健康(通年) 生涯を通じる健康			
	総合的な探究の時間	校外学習の事前、事後学習 農園での野菜の栽培			
	自立活動	(通年)【健康の保持】生活習慣や生活リズムの保持、健康状態の維持・改善 【環境の把握】保有する感覚の活用 【身体の動き】姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用			
1 学 期					
特別活動	児童生徒会活動	新入生を迎える会			
	学校行事	入学式、なかよし遠足、ドリームスポーツ杯、社会見学、校外学習			
	給食の時間	給食指導	楽しく食べること 準備や片付けの協力 食事マナー 感謝の気持ち 食べ物のほたらき(栄養) 日本食・郷土料理について知ること(通年)		
	食に関する指導	給食を知ろう 食べ物の名前を知ろう 食べ物に関心を持とう			
		4月	5月	6月	7月
関連事項 学校給食の	月目標	楽しくたべよう 清潔を心がけよう よく噛んで食べよう			
	食文化の伝承		端午の節句		七夕
	行事食	入学・進級の祝い			
	旬の食材	たけのこ	じゃがいも	びわ	ゴーヤ
	地場産物	(同上)	(同上)	(同上)	(同上)
個別的な相談指導	【通年】「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」、対応食の実施(アレルギー食、形態食)				
寄宿舎との連携	【通年】寄宿舎週間献立表 お誕生日会メニューの実施、手作りおやつを提供				
家庭・地域・事業所等との連携	たより	かりかりいりこ(毎月の献立表) 食育だより			
	行事等	学級PTA	ドリームスポーツ杯	学校評議員会	学級PTA
	年間	ケース会議 専門家による摂食指導			

8～9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
栄養と調理				お別れ会		
ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成、アジア諸国の変貌と近代の日本、帝国主義の時代、急変する人類社会、世界平和と戦争 近代産業の発展と社会主義運動				三つの世界と日本の動向、地球社会への歩みと課題、持続可能な社会の展望		
現代の経済社会と私たちの生活				国際経済の動向と日本の役割、民主社会に生きる倫理		
光の性質とその利用 物質量と化学反応式、酸と塩基の反応 生物の体内環境、植生の多様性と分布				酸化還元反応 生態系とその保全		
食生活・食習慣の違い(ALT)				食生活・食習慣の違い(ALT)		
食生活の安全のために、食生活をデザインする、調理実習 親の役割、子育て支援と福祉、高齢期を生きる、高齢社会を支えあう 共に生きる、調理実習				私たちのくらしと経済、消費者生活を考える 持続可能な社会を目指して、これからの生活を考える 調理実習		
現代社会と健康(通年) 生涯を通じる健康						
校外学習の事前、事後学習						
(通年)【健康の保持】生活習慣や生活リズムの保持、健康状態の維持・改善 【環境の把握】保有する感覚の活用 【身体の動き】姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用						
2 学 期				3 学 期		
				給食感謝の会		
修学旅行、お楽しみ遠足、別支ドリームフェスティバル、 校外学習、お楽しみ会				お別れ遠足、卒業生を送る会、卒業式		
楽しく食べること 準備や片付けの協力 食事マナー 感謝の気持ち 食べ物のほたらき(栄養) 日本食・郷土料理について知ること(通年)						
バランスの良い食事 食べ物と健康について知ろう				・食材や行事に関する配布資料を用いた指導 ・食材や献立に関連する展示物、掲示物を用いた指導		
8月～9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
好き嫌いなく食べよう バランスよく食べよう				感謝して食べよう		
お月見			冬至	正月		卒業式
			クリスマス		卒業生のリクエスト	
なし	サンマ	根菜類	みかん			
(同上)		(同上)	(同上)			
【通年】「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」、対応食の実施(アレルギー食、形態食)						
【通年】寄宿舎週間献立表 お誕生日会メニューの実施、手作りおやつを提供						
かりかりいりこ(毎月の献立表) 食育だより						
学級PTA		別支ドリフェス 学校評議員会	学級PTA	学級PTA	学校評議員会	学級PTA
ケース会議 専門家による摂食指導						

VII 基本日課

令和6年度小学部 基本日課（1 課程）

1年生

	月	火	水	木	金
8:45～	自立・朝の会				
1時間目	自立	国語	国語	自立	国語
2時間目	生活	図工	算数	特活	生活
3時間目	国語	国語	図工	国語	算数
4時間目	音楽	算数	算数	音楽	国語
給食					
5時間目		国語	国語	算数	道徳
6時間目					
	帰りの会				
下校	13:30	14:15			

2年生

	月	火	水	木	金
8:45～	自立・朝の会				
1時間目	自立	国語	国語	自立	国語
2時間目	生活	図工	算数	特活	生活
3時間目	国語	国語	図工	国語	算数
4時間目	音楽	算数	算数	音楽	国語
給食					
5時間目		算数	国語	国語	算数
6時間目					
	帰りの会				
下校	14:15				

3年生

	月	火	水	木	金
8:45～	自立・朝の会				
1時間目	国語	国語	国語	自立	国語
2時間目	国語	理科	体育	特活	理/社
3時間目	算数	算数	総合	国語	算数
4時間目	音楽	図工	算数	算数	総合
給食					
5時間目	理科	社会	外国語	図工	道徳
6時間目		国語		自立	
	帰りの会				
下校	14:15	15:05	14:15	15:05	14:15

4年生

	月	火	水	木	金
8:45～	自立・朝の会				
1時間目	国語	国語	国語	算数	総合
2時間目	国語	理科	体育	特活	理科
3時間目	算数	社会	算数	国語	国語
4時間目	音楽	国語	理科	総合	算数
給食					
5時間目	図工	図工	外国語	社会	道徳
6時間目		算数	自立	自立	
	帰りの会				
下校	14:15	15:05			14:15

5年生

	月	火	水	木	金
8:45～	自立・朝の会				
1時間目	社会	国語	国語	外国語	総合
2時間目	国語	社会	体育	特活	国語
3時間目	総合	算数	算数	国語	算数
4時間目	算数	図工	理科	算数	家庭
給食					
5時間目	理科	理科	外国語	図工	道徳
6時間目		音楽	自立	自立	
	帰りの会				
下校	14:15	15:05			14:15

6年生

	月	火	水	木	金
8:45～	自立・朝の会				
1時間目	自立	国語	社会	社会	国語
2時間目	国語	外国語	体育	特活	算数
3時間目	総合	算数	国語	算数	家庭
4時間目	算数	図工	理科	総合	自立
給食					
5時間目	理科	理科	外国語	図工	道徳
6時間目		音楽	算数	国語	
	帰りの会				
下校	14:15	15:05			14:15

令和6年度小学部 基本日課（Ⅱ課程）

1年生

	月	火	水	木	金
8:45～	朝の会				
1時間目	日/国	日/国	日/国	日/国	日/国
2時間目	図工	音楽	体育	特活	国語
3時間目	遊び	図工	生単	国語	生単
4時間目	自立	算数	遊び	算数	自立
給食	日常生活の指導				
5時間目		自立	算数	音楽	道徳
6時間目					
	帰りの会				
下校	13:30	14:15			

2年生

	月	火	水	木	金
8:45～	朝の会				
1時間目	日/国	日/国	日/国	日/国	日/国
2時間目	図工	音楽	体育	特活	国語
3時間目	遊び	図工	生単	国語	生単
4時間目	自立	算数	遊び	算数	自立
給食	日常生活の指導				
5時間目	算数	自立	算数	音楽	道徳
6時間目					
	帰りの会				
下校	14:15				

3年生

	月	火	水	木	金
8:45～	朝の会				
1時間目	日/国	日/国	日/国	日/国	日/国
2時間目	図工	音楽	体育	特活	国語
3時間目	生単	図工	生単	国語	生単
4時間目	自立	算数	国語	算数	自立
給食	日常生活の指導				
5時間目	算数	自立	算数	音楽	道徳
6時間目		国語		国語	
	帰りの会				
下校	14:15	15:05	14:15	15:05	14:15

4年生

	月	火	水	木	金
8:45～	朝の会				
1時間目	日/国	日/国	日/国	日/国	日/国
2時間目	生単	生単	体育	特活	音楽
3時間目	自立	算数	自立	算数	図工
4時間目	算数	自立	国語	国語	生単
給食	日常生活の指導				
5時間目	図工	国語	自立	自立	道徳
6時間目		音楽	算数	生単	
	帰りの会				
下校	14:15	15:05			14:15

5年生

	月	火	水	木	金
8:45～	朝の会				
1時間目	日/国	日/国	日/国	日/国	日/国
2時間目	生単	生単	体育	特活	音楽
3時間目	自立	算数	自立	算数	図工
4時間目	算数	自立	国語	国語	生単
給食	日常生活の指導				
5時間目	図工	国語	自立	自立	道徳
6時間目		音楽	算数	生単	
	帰りの会				
下校	14:15	15:05			14:15

6年生

	月	火	水	木	金
8:45～	朝の会				
1時間目	日/国	日/国	日/国	日/国	日/国
2時間目	生単	生単	体育	特活	音楽
3時間目	自立	算数	自立	算数	図工
4時間目	算数	自立	国語	国語	生単
給食	日常生活の指導				
5時間目	図工	国語	自立	自立	道徳
6時間目		音楽	算数	生単	
	帰りの会				
下校	14:15	15:05			14:15

令和6年度小学部 基本日課（Ⅲ課程）

1年生

	月	火	水	木	金
8:45～	朝の会				
1時間目	日生	日生	日生	日生	日生
2時間目	生単	生単	体育	特活	音楽
3時間目	遊び	図工	算数	図工	国語
4時間目	自立	国語	自立	自立	自立
給食	日常生活の指導				
5時間目		音楽	遊び	算数	道徳
6時間目					
	帰りの会				
下校	13:30	14:15			

2年生

	月	火	水	木	金
8:45～	朝の会				
1時間目	日生	日生	日生	日生	日生
2時間目	生単	生単	体育	特活	音楽
3時間目	遊び	図工	国語	図工	国語
4時間目	自立	自立	自立	自立	自立
給食	日常生活の指導				
5時間目	算数	音楽	遊び	算数	道徳
6時間目					
	帰りの会				
下校	14:15				

3年生

	月	火	水	木	金
8:45～	朝の会				
1時間目	日生	日生	日生	日生	日生
2時間目	生単	生単	体育	特活	音楽
3時間目	遊び	図工	国語	図工	国語
4時間目	自立	自立	自立	自立	自立
給食	日常生活の指導				
5時間目	算数	音楽	遊び	算数	道徳
6時間目		算数		国語	
	帰りの会				
下校	14:15	15:05	14:15	15:05	14:15

4年生

	月	火	水	木	金
8:45～	朝の会				
1時間目	日生	日生	日生	日生	日生
2時間目	生単	生単	体育	特活	音楽
3時間目	遊び	図工	国語	図工	国語
4時間目	自立	自立	自立	自立	自立
給食	日常生活の指導				
5時間目	算数	音楽	遊び	算数	道徳
6時間目		自立	算数	国語	
	帰りの会				
下校	14:15	15:05			14:15

5年生

	月	火	水	木	金
8:45～	朝の会				
1時間目	日生	日生	日生	日生	日生
2時間目	生単	生単	体育	特活	音楽
3時間目	遊び	図工	国語	図工	国語
4時間目	自立	自立	自立	自立	自立
給食	日常生活の指導				
5時間目	算数	音楽	遊び	算数	道徳
6時間目		自立	算数	国語	
	帰りの会				
下校	14:15	15:05			14:15

6年生

	月	火	水	木	金
8:45～	朝の会				
1時間目	日生	日生	日生	日生	日生
2時間目	生単	生単	体育	特活	音楽
3時間目	遊び	図工	国語	図工	国語
4時間目	自立	自立	自立	自立	自立
給食	日常生活の指導				
5時間目	算数	音楽	遊び	算数	道徳
6時間目		自立	算数	国語	
	帰りの会				
下校	14:15	15:05			14:15

令和6年度小学部 基本日課（IV課程）

1年生

	月	火	水	木	金
8:45～	朝の会				
1時間目	日生	日生	日生	日生	日生
2時間目	自立	自立	自立	特活	自立
3時間目	音楽	遊び	音楽	遊び	図工
4時間目	日/自	日/自	日/自	日/自	日/自
給食	日常生活の指導				
5時間目		自立	自立	自立	自立
6時間目					
	帰りの会				
下校	13:30	14:15			

2年生

	月	火	水	木	金
8:45～	朝の会				
1時間目	日生	日生	日生	日生	日生
2時間目	自立	自立	自立	特活	自立
3時間目	音楽	遊び	音楽	遊び	図工
4時間目	日/自	日/自	日/自	日/自	日/自
給食	日常生活の指導				
5時間目	自立	自立	自立	自立	自立
6時間目					
	帰りの会				
下校	14:15				

3年生

	月	火	水	木	金
8:45～	朝の会				
1時間目	日生	日生	日生	日生	日生
2時間目	自立	自立	自立	特活	自立
3時間目	音楽	遊び	音楽	遊び	図工
4時間目	日/自	日/自	日/自	日/自	日/自
給食	日常生活の指導				
5時間目	自立	自立	自立	自立	自立
6時間目		自立		自立	
	帰りの会				
下校	14:15	15:05	14:15	15:05	14:15

4年生

	月	火	水	木	金
8:45～	朝の会				
1時間目	日生	日生	日生	日生	日生
2時間目	自立	自立	自立	特活	自立
3時間目	音楽	遊び	音楽	遊び	図工
4時間目	日/自	日/自	日/自	日/自	日/自
給食	日常生活の指導				
5時間目	自立	自立	自立	自立	自立
6時間目		自立	自立	自立	
	帰りの会				
下校	14:15	15:05			14:15

5年生

	月	火	水	木	金
8:45～	朝の会				
1時間目	日生	日生	日生	日生	日生
2時間目	自立	自立	自立	特活	自立
3時間目	音楽	遊び	音楽	遊び	図工
4時間目	日/自	日/自	日/自	日/自	日/自
給食	日常生活の指導				
5時間目	自立	自立	自立	自立	自立
6時間目		自立	自立	自立	
	帰りの会				
下校	14:15	15:05			14:15

6年生

	月	火	水	木	金
8:45～	朝の会				
1時間目	日生	日生	日生	日生	日生
2時間目	自立	自立	自立	特活	自立
3時間目	音楽	遊び	音楽	遊び	図工
4時間目	日/自	日/自	日/自	日/自	日/自
給食	日常生活の指導				
5時間目	自立	自立	自立	自立	自立
6時間目		自立	自立	自立	
	帰りの会				
下校	14:15	15:05			14:15

日課表

I課程 中1

	月	火	水	木	金
1	英語	数学	理科	国語	国語
2	数学	理科	総合 音楽/美術	数学	社会
3	保健体育	技術・家庭	総合	理科	音楽
4	社会	技術・家庭	英語	社会	英語
給食・昼休み					
5	道徳	英語	国語	美術	保健体育
6		国語	数学	学活	自立活動

日課表

II課程 中1

	月	火	水	木	金
日生(朝の会) 5分×5日					
1	数学	理科	社会	自立活動	英語
2	国語	国語	総合 音楽/美術	英語	国語
3	保健体育	職業・家庭	総合	社会	音楽
4	英語	職業・家庭	数学	数学	理科
給食・昼休み					
5	道徳	生単	作業学習	美術	保健体育
6		生単	自立活動	学活	
日生(帰りの会) 5分×5日					

日課表

I課程 中3

	月	火	水	木	金
1	社会	国語	数学	英語	数学
2	理科	英語	総合	社会	英語
3	保健体育	音楽	総合	数学	社会
4	国語	理科	美術	理科	国語
給食・昼休み					
5	道徳	数学	理科	技術・家庭	保健体育
6		社会	英語	学活	自立活動

日課表

II課程 中3

	月	火	水	木	金
日生(健康観察) 5分×5日					
1	国語	社会	自立活動	数学	理科
2	英語	数学	総合	国語	社会
3	保健体育	音楽	総合	英語	英語
4	数学	理科	美術	社会	国語
給食・昼休み					
5	道徳	生単	作業学習	職業・家庭	保健体育
6		生単	理科	学活	
日生(帰りの会) 5分×5日					

日課表

III課程 中1 中2 中3

	月	火	水	木	金
日生(健康観察) 5分×5日					
1	自立活動 日生	自立活動 日生	自立活動 日生	自立活動 日生	自立活動 日生
2	国語	国語	総合	数学	国語
3	保健体育	保健体育	総合	美術	数学
4	自立活動	音楽	数学	美術	音楽
給食・昼休み					
5	道徳	生単	作業学習	自立活動	生単
6		生単	自立活動	学活	
日生(帰りの会) 5分×5日					

日課表

IV課程 中1 中3

	月	火	水	木	金
日生(健康観察) 5分×5日					
1	日生	日生	日生	日生	日生
2	自立活動 (移動姿勢)	自立活動 (移動姿勢)	総合	自立活動 (移動姿勢)	自立活動 (移動姿勢)
3	音楽	自立活動 (うんどう)	総合	音楽	美術
4	自立活動	自立活動	自立活動 (移動姿勢)	自立活動	自立活動
給食					
5	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動
6		自立活動	自立活動 (うんどう)	学活	
日生(帰りの会) 5分×5日					

		IV		III			II		I					
		1年	3年	1年	2年	3年	2年	1年	2年肢	2年	3年			
月	1	日生	日生	自立	自立	自立	自立	自立	自立	自立	自立	自立	1	月
	2	自立	自立	自立 請負	自立 請負	自立 請負	作業 請負	音楽 I	音楽 I	情報 処理	体育	2		
	3	自立	自立	作業 請負	作業 請負	作業 請負	作業 請負	英C I	産業社会 と人間	産業社会 と人間	産業社会 と人間	3		
	4	自立	自立	自立 請負	自立 請負	自立 請負	作業 請負	公共	産業社会 と人間	産業社会 と人間	産業社会 と人間	4		
	5	自立	音楽	自立	美術	音楽	美術	家庭 基礎	保健	保健	数学A	5		
	6											6		
火	1	日生	日生	自立	自立	自立	自立	自立	自立	自立	自立	1	火	
	2	音楽	音楽	数学	国語	数学	家庭	数学 I	科学と 人間生活	科学と 人間生活	美術 II	2		
	3	自立	自立	国語	美術	国語	美術	科学と 人間生活	地理 総合	地理 総合	現代の 国語	3		
	4	自立	自立	生単	生単	生単	生単	情報 I	言語 文化	言語 文化	英C I	4		
	5	自立	自立	美術	数学	美術	体育	体育	数学 I	体育	歴史 総合	5		
	6	自立	自立	自立	自立	自立	国語	自立 (SU)	自立 (SU)	自立 (SU)	自立 (SU)	6		
水	1	日生	日生	自立	自立	自立	自立	自立	自立	自立	自立	1	水	
	2	自立	自立	自立 もの	自立 もの	自立 もの	作業 もの	保健	英C I	英C I	科学と 人間生活	2		
	3	美術	美術	作業 もの	作業 もの	作業 もの	作業 もの	英C I	産業社会 と人間	産業社会 と人間	産業社会 と人間	3		
	4	自立	自立	自立 もの	自立 もの	自立 もの	作業 もの	言語 文化	産業社会 と人間	産業社会 と人間	産業社会 と人間	4		
	5	自立	自立	肢体 体育	肢体 体育	肢体 体育	数学	公共	肢体 体育	数学 I	英C I	5		
	6	音楽	自立	音楽	音楽	数学	音楽	家庭 基礎	科学と 人間生活	科学と 人間生活	体育	6		
木	1	日生	日生	自立	自立	自立	自立	自立	自立	自立	自立	1	木	
	2	HRA	HRA	HRA	HRA	HRA	HRA	HRA	HRA	HRA	HRA	2		
	3	美術	美術	数学	数学	国語	体育	体育	数学 I	体育	歴史 総合	3		
	4	自立	自立	生単	生単	生単	生単	数学 I	言語 文化	言語 文化	科学と 人間生活	4		
	5	自立	音楽	国語	自立	音楽	国語	情報 I	英C I	英C I	体育	5		
	6	音楽	自立	音楽	音楽	自立	音楽	言語 文化	地理 総合	地理 総合	数学A	6		
金	1	日生	日生	自立	自立	自立	自立	自立	自立	自立	自立	1	金	
	2	自立	自立	肢体 体育	肢体 体育	肢体 体育	数学	科学と 人間生活	肢体 体育	数学 I	美術 II	2		
	3	総探	総探	総探	総探	総探	総探	総探	総探	総探	総探	3		
	4	総探	総探	総探	総探	総探	総探	総探	総探	総探	総探	4		
	5	自立	自立	美術	国語	美術	家庭	音楽 I	音楽 I	情報 処理	現代の 国語	5		
	6	自立	自立	自立	自立	自立	自立	自立	自立	自立	自立	6		